

LXXIII. 緑内障・眼内腫瘍

374. 急性炎性緑内障 Glaucoma inflammatorium acutum.

急性炎性緑内障ノ症状ガ發作的ニ増悪スルトキ之ヲ急性炎性緑内障ト稱スル。即チ睡眠不足 精神感動 肉體過勞 熱性病 其ノ他ノ誘因ニヨツテ 症状増悪シテ 急激ニ 急性炎性緑内障ニ移行スル。急性炎性緑内障ノ症状ハ 自覺的ニハ 患側ノ三叉神經ノ第一枝及ビ第二枝ノ領域ニ於ケル疼痛。即チ頭部 耳 齒 等ニ於ケル劇痛ヲ以テ初マリ。患者ハ其ノ爲メ 食思不振 不眠ヲ訴ヘル。尙ホ惡心 嘔吐 及ビ 發熱ヲ來シテ衰弱シ。屢患者ハ之レヲ全身病ト誤リ 内科醫ヲ訪レル。視力障碍ハ高度デ。概ネ 指數乃至眼前手動ニ低下スル。他覺的ニハ 激シイ炎性症状ガ見ラレル。即チ 眼瞼浮腫 結膜充血 時ニハ 結膜浮腫サヘモ見ラレ。角膜ノ表面ハ 粗糙トナリ。滲濾性ニ潤濁シ。角膜ノ知覺ハ 減退スル。前房ハ淺ク。瞳孔ハ散大シ。瞳孔反應ハ 多ク消失シテキル。瞳孔ヨリハ 帶綠色ノ反射ガ見ラレル。コレ俗ニあをぞこヒト稱セラレル所以デアル。眼壓充進ハ著シク。眼球ハ 石ノ如ク硬クナル。眼底ハ 角膜潤濁ノ爲メニ見エナイコトガ多イ。カハル状態ハ 通常數日間繼續シテ 漸次慢性炎性緑内障 Glaucoma inflammatorium chronicum ニ移行スル。

療法。藥物的ニハ「エセリン」又ハ「ピロカルピン」ノ點眼。冷電法。手術的ニハ 虹彩切除術 Iridectomy. エリオット Elliot 氏鞏膜管鑿術 Trepanation. ハイネ Heine 氏毛様體剝離術 Cyclodialysis 等デアル。

本例ハ 54 歳ノ女子ニ於ケル 右眼ノ急性炎性緑内障デアル。約一年前ヨリ 約10日毎ニ 右眼ニ 激シイ疼痛ガ起リ。コノ疼痛ハ 頭部ノ右半面ニ放散シ。電燈ニ虹輪ヲ見。全身ニ熱感ガアツタ。併シ醫療ハ受ケテナクツタ。14日前ニ 再び右眼ニ 激シイ痛ミガアリ。嘔吐 3 回。眩暈ガアツテ 疲勞甚シク。其ノ爲メ受診シタ。當時 右眼ノ視力ハ 眼前手動デ。定型的ノ急性緑内障ノ所見ヲ呈シ。眼壓ハ 75 耗水銀柱デアツタ。

375. 牛眼 Buphthalmus, 瞳孔閉鎖 Occlusio pupillae.

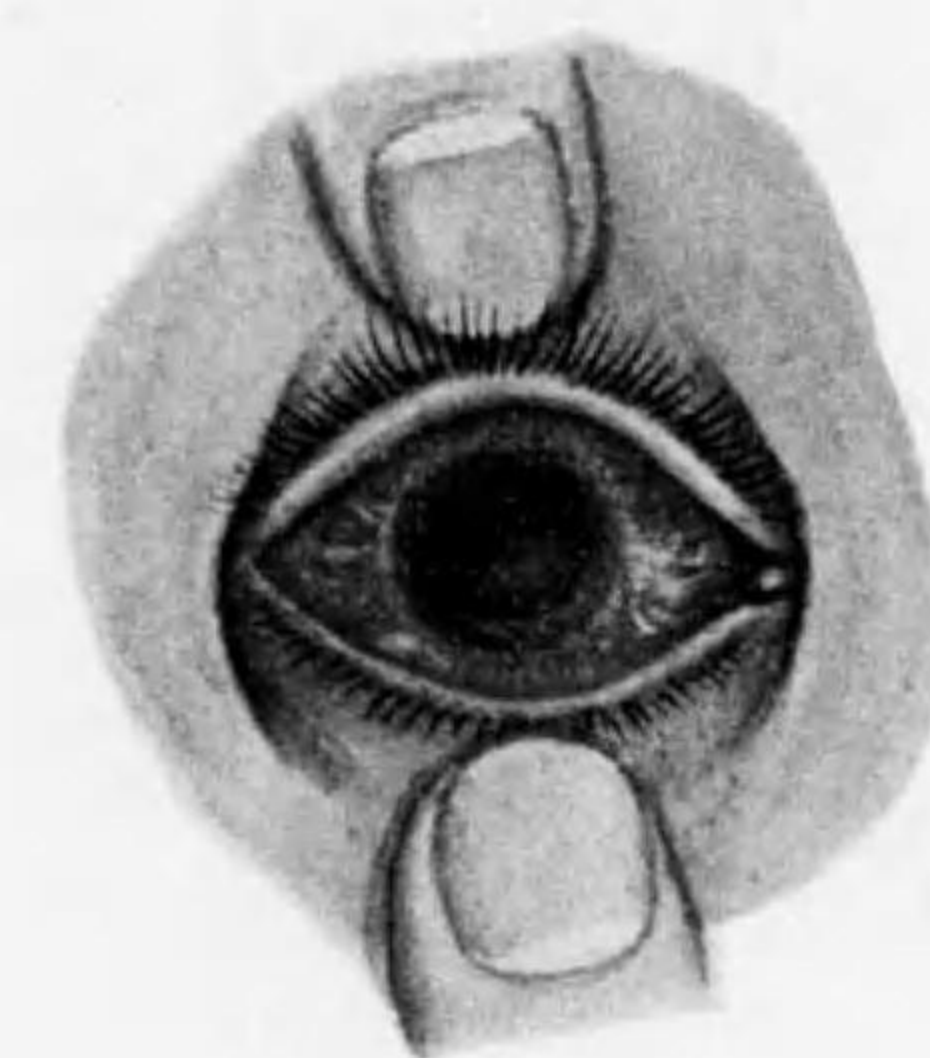
恐ラク前房隅角乃至シユレム氏管ノ先天異常ニ因ル交通障碍ノ爲メニ。或ハズ 續發的ニ。幼少ナル 兒童ニ 眼壓ガ充進シテ 緑内障ガ起ルコトガアル。コノ時 小兒ノ鞏角膜ハ 其ノ組織ガ 猶ホ軟弱 デアルタメニ 擴張カレ。眼球ハ著シク巨大トナリ。臉裂ヨリ突出シテ 牛ノ眼球ノ如キ外觀ヲ呈スル。コノ 状態ヲ 牛眼ト稱スル。概ネ兩眼ガ罹患スルガ。時ニハ 一眼ノコトモアル。其ノ症状トシテハ 眼壓充進ハ常ニ存在シ。角膜ハ甚ダシク大トナツテ 球狀ヲ呈シ(球狀角膜 Cornea globosa)。角膜潤濁。デスメ氏膜破裂 等ガ見ラレル。前房ハ深クナリ。鞏膜ハ著シク菲薄トナツテ 青色ヲ帶ビ。眼底ニハ 緑内障性萎縮及ビ陷凹ガ證明セラレル。牛眼ノ經過ハ 單性緑内障ト畧。同様ニ 慢性デアル。續發性緑内障ノ原因トナル眼疾患ガ 幼少期ニ起ツタ時ニハ 眼壓充進ニ因リ 牛眼ヲ續發スル。之ヲ續發牛眼 Buphthalmus secundarius ト稱スル。

療法ハ 緑内障ニ準ジテ行フ。豫後ハ 概シテ不良デアルガ。時トシテ 鞏膜管鑿術 又ハ 毛様體剝離術ガ効ヲ奏スルコトガアル。

本例ハ 20 歳ノ女子ノ左眼ニ於ケル牛眼デアル。患者ハ 小兒期カラ健康デ。3 歳ノ時 兩眼ニ急ニ 視力障碍ヲ來シ。7 歳頃カラ左眼ハ漸次ニ 膨隆擴大シテ來タ。患眼ノ視力ハ零。角膜ノ直径ハ 17 耗(健眼ハ 11 耗)。眼壓 50 耗水銀柱アリ。尙ホ瞳孔閉鎖ト虹彩震盪トガ認メラレタ。

376. 網膜膠腫 Glioma retinae.

網膜膠腫ハ 通常 1-5 歳ノ小兒ニ起ル所ノ惡性腫瘍デアツテ。多クハ一眼ニ發スルガ。時ニハ兩眼ニ 發生スルコトモアル。10 歳以後ニ起ルコトハ稀メテ稀デアル。膠腫發生ハ素因ガアル様デ。屢ニ 遺傳關係ガ證明ケレル。網膜膠腫ノ經過ヲ分ツテ 4 期トスル。第一期ニ於テハ 網膜ニ發生シタ膠腫ノタメニ 小兒ノ瞳孔ノ奥ガ帶黃白色ニ輝キ。同時ニ 視力障碍ガ起ル。之ヲ黒内障性猫眼 Oculus felis amauroticus ト稱ル。徹照スレバ 眼底ニ帶黃白色ノ隆起シタ腫瘍ガ見ラレル。該腫瘍ノ表面ハ不平デ。其ノ表面ニ血管ヲ見ルコトガ多イ。膠腫ガ主トシテ硝子體中ニ増殖スル時ハ 膠腫ハ白色塊ヲ成シテ 網膜カラ離レテ 硝子體中ニ出デ。更ニ前房ニ進シテ 虹彩面ニ癒着シ。結核性虹彩炎ニ似タ像ヲ呈スルコトガアル。膠腫ガ脈絡膜ニ向ツテ増殖スル時ニハ 早期ニ網膜剝離ガ起ル。第二期ニ至レバ 腫瘍ハ益々前方ニ進行シ 眼球内ヲ充タシ 眼壓ハ充進シテ 緑内障症状 Status glaucomatosus ヲ呈スル。



374. 急性炎性緑内障  
Glaucoma inflammatorium acutum.



375. 牛眼 Buphthalmus,  
瞳孔閉鎖 Occlusio pupillae.



376. 網膜膠腫  
Glioma retinae. (第一期, ホマトロピン點眼)



377. 偽膠腫  
Pseudoglioma. (ホマトロピン點眼)



378. 網膜膠腫  
Glioma retinae. (第三期)



379. 脈絡膜黑色肉腫  
Melanosarcoma chorioideae. (徹照圖)

即チ 眼球ハ一般ニ充血シ 抵抗力薄弱ナル幼兒ノ鞏膜ハ 膨脹シテ牛眼トナル。第三期ニ於テハ 腫瘍ハ眼球壁ヲ破ツテ眼窩内ニ擴ガリ、又ハ 臉裂外ニ出デテ 拳大又ハ時トシテ小兒頭大トナル。臉裂外ニ出タ腫瘍ハ 出血シ易ク、且ツ 表面ハ 屢ニ化膿シテ 惡臭ヲ發スル。終ニ第四期ニ移レバ 腫瘍ハ 腦ヲ侵シ、又 淋巴腺、骨、肝等ニ轉移シテ 大概 腫瘍發生後 約 1-3 年ニシテ死ノ轉歸ヲ取ル。

診斷ニ際シテハ 偽膠腫トノ鑑別が必要ナル。

療法、早期ニ眼球ヲ摘出スル。第三期ニ至レバ 眼窩ノ内容ヲ除去スルモ 通常再發ヲ免レナイ。適量ノ「レントゲン」線照射ハ腫瘍ノ進行ヲ制止シ、之レヲ 縮小セシメ、又 場合ニヨツテハ 殊ニ初期ニ適用シタ時ニハ 全ク治癒セシメ得タ例モアル(眼底圖譜 145, 146, 147, 148, 149, 參照)。

本例ハ 2 歳ノ男兒ノ左眼ニ於ケル 第一期ノ網膜膠腫ナル。患者ノ家族ハ 約一箇月前ニ 患兒ノ左眼ノ瞳孔ニ 異様ノ光ノアルコトニ 氣付イタト云フ。左眼瞳孔ノ深部ハ 帶黄灰白色ノ光ヲ放チ、所謂 黑白障性猫眼ノ所見ヲ呈シテキル。瞳孔ヲ散大シテ検査スルト、硝子體ハ 約其ノ3/4ガ 腫瘍ヲ以テ充サレ、其ノ腫瘍ノ表面ハ 凹凸ガアツテ、血管ガ 迂曲シテ 其ノ上ヲ走ツテキルノガ見ラレシ。

### 377. 偽膠腫 Pseudoglioma. (ホマトロビン點眼)

網膜膠腫トノ誤診ヲ起サセルヤウナ小兒期ノ疾患ヲ 總稱シテ 偽膠腫ト謂フ。其ノ主ナルモノハ 極メテ慢性ニ經過シタ化膿性葡萄膜炎後ノ硝子體內ノ結核性性膜 又ハ 硝子體內ノ小膿瘍ナル。而シテ此ノ如キ葡萄膜炎ハ 小兒ニ於テハ 流行性腮腺炎 流行性感冒 等ノ際ニ見ラレ、マタ比較的稀ナルガ 外傷 或ハ 癒着性白斑カラ 化膿菌ガ進入シタ際ニモ見ラレシ。以上ノ外 滲出性網膜炎 及ビ 甚タ稀デハアルガ 脈絡膜結核 及ビ 胎生時組織ノ遺残物等モ 偽膠腫ノ原因トナリ得ル。網膜膠腫ト偽膠腫トノ鑑別ハ 屢ニ非常ニ困難デ、時ニハ 殆ド不可能ナコトモアル。網膜膠腫ニ於テハ 初期ニハ 眼壓ハ正常ナルケレドモ、後ニハ 眼壓充進シ、爲メニ眼球ガ擴大サレルニ至ルガ、偽膠腫ニ於テハ 大多數ノ場合ニハ 眼壓ハ低下シテキル。又 虹彩後癒着ヲ見ルコトモアル。

本例ハ 4 歳ノ男子ノ右眼ニ於ケル偽膠腫デ、患者ハ約 2 箇月前ニ 感冒ニ罹リ、39°ノ熱ガ 2 日間續イタコトガアリ、又 約 1 箇半月程前ニ 急性大腸「カタル」ヲ患ヒ、一週間程ノ間ハ 1 日 5-6 回ノ便通ガアリ、尿ハ 赤ク濁濁シテキタガ、熱ハアマリ高クハナカツタトノコトナル。然ルニ 大腸「カタル」ノ治ツタ頃カラ 右眼ガ發赤シ、更ニ一週間程経テカラ 右眼ノ瞳孔ガ青白ク光ルヤウニナツタト云フ。右瞳孔ノ深部ニ 帶青黄色ノ反射ヲ見、又 虹彩後癒着ガアリ、眼壓ハ少シク下降シテキル。

### 378. 網膜膠腫 Glioma retinae. (第三期)

本例ハ 5 歳ノ女兒ニ於ケル 第三期ノ網膜膠腫ナル。約 9 箇月前ニ 網膜膠腫ノ診斷ノ下ニ 眼球摘出手術ヲ受ケ、其ノ後 約 6 箇月間「レントゲン」線ノ照射ヲ受ケタガ 効無ク、3 箇月前ニ 再發シテ 現在ニ至ツタモノナル。

### 379. 脈絡膜黑色素肉腫 Melanosarcoma chorioideae. (徹照圖)

本例ハ 32 歳ノ女子ニ見ラレタ 右眼葡萄膜黑色素肉腫ノ第一期ノ所見ナル。約一年半以前ヨリ 羞明 小視症 視力障害 ヲ以テ發病シタ。

現症トシテ 右眼視力=0.1 (矯正不能)、左眼視力=1.5 (矯正不能)、眼壓ハ兩眼共ニ正常。徹照法ニヨリ 右眼ニ 外下方カラ瞳孔中央部ニ向ツテ膨隆シタ 大豆大ノ 半圓形 限局性ノ腫瘍ヲ認メル。腫瘍ノ色ハ 汚穢灰白色デ 色素ノ沈着ヲ認メル。其ノ表面ハ 滑澤デ 眼球運動ニ際シテ 浮搖スル事ハ ナイ。檢眼鏡的ニ 乳頭ハ健全ニ保存サレ 網膜剝離ハ 黄斑部ニ迄及ブ。

本例ハ 腫瘍ノ色ト 膨隆ノ状態ト 浮動性ノ缺ケテキル事ト 眼壓ノ下降シテキナイ事トカラ 特發性網膜剝離ト區別シ得ラレシ。又 年齢ノ關係カラ 網膜膠腫ト區別シ得ラレシ。

葡萄膜眞正腫瘍中 最ニ屢ニ見ラレルモノハ 黑色素肉腫ナル。原發性デ、一箇所ニ強ク膨隆スルモノト、廣範圍ニ 扁平ニ發生スルモノトカアル。

肉腫發展状態ハ 網膜膠腫ニ類似シ 四期ニ分ツ。即チ 第一期ハ 眼底ニ黄白色又ハ褐色ノ隆起ガアリ、次イデ網膜ガ剝離スル。此ノ時期ニ特發性剝離ト區別スル事ガ重要ナル。第二期ニハ結膜ガ充血シ、眼痛ヲ頭痛ガ起ル。即チ 腫瘍ハ眼球内ヲ充滿シテ、續發性内障ノ状態ニアル。第三期ニ於テ 眼球壁ヲ破リ、眼窩内ニ擴ガリ。比較的早期ニ 膜 及ビ 内臟 殊ニ 肝臟ニ轉移ヲ起ス。之レヲ 第四期ト謂ヒ、遂ニ死ノ轉歸ヲ取ルノガ普通ナル。夫レ故 脈絡膜肉腫ハ 診斷ノツキ次第 速クニ眼球ヲ摘出シナケレバナラナイ(眼底圖譜143, 參照)。

**LXXIV. 其他**

(380, 381, 382, 383, 384.)

LXXIV. 其他

380. 先天小眼球 Microphthalmus congenitus. (左)

先天的=眼球ノ小ナルモノヲ 先天小眼球ト稱スル。小眼球ノ程度ハ 種々デアツテ 其ノ小ナルモノハ 豌豆大 又ハ 夫レ以下デ、臨床的ニハ 殆ンド眼球トシテ認メ難イコトガアル。先天小眼球ヲ 二種ニ分ケル。第一種ハ 單純ノ先天小眼球デアル。コノ種ノ小眼球デハ 單ニ眼球ノ小ナルヲ見ルノミデ、他ノ眼球各部ノ缺損ハ認メラレナイ。常ニ 高度ノ軸性遠視 角膜ノ直徑及ビ彎曲半徑ノ縮小ガ證明セラレ、線内障ガ起リ易ク、又 黄斑部ノ發育不全ガアリ、矯正視力ハ不完全ナコトガ多イ。一般ニ高度ノ軸性遠視ハ 輕度ノ單純ノ先天小眼球ト考フ可キデアル。然シコノ第一種ノ單純ノ先天小眼球ハ 比較的稀デ 第二種即チ眼球各部ノ缺損ヲ伴ツテ先天小眼球ガ多ク見ラレル。コノ種ノ先天小眼球ニアツテハ 角膜ハ著シク小トナリ 角膜ハ透明ノコトモアルガ 多クハ濁濁シテ居ル。角膜濁濁ノ形狀ハ 種々デアツテ 血管新生ニ見ラレルコトガアル。常ニ 定型的ノ虹彩缺損ガ見ラレルガ、網膜脈絡膜缺損ハ屢、同時ニ存在スル白内障ノ爲メニ 見ルヲ得ナイ。光覺ハ良好デアルガ、時ニハ失明セルコトモアル。眼發生學的ニハ 先天小眼球ハ 眼裂ノ閉鎖不全ニ續發スル眼畸形デ、缺損形成トハ 極メテ密接ナ關係ヲ有シテ居ル。療法トシテハ白内障ニ對スル手術ガアルノミデアル。眼鏡ハ通常用ヲ爲サナイ。

本例ハ 18歳ノ男子ニ於ケル第二種ノ先天小眼球デアル。虹彩及ビ脈絡膜缺損、先天小眼瞼 等ガ見ラレル。

381. 外傷性眼球脱臼 Luxatio bulbi traumatica. (左)

眼球ノ突出強クシテ 眼瞼外ニ脱出シタモノヲ 眼球脱臼ト謂ヒ、出産ノ際ノ外傷ニ因ルモノガ最多ク、ソノ他 眼窩腫瘍等ニ因ルモノガアル。

本例ハ 25歳ノ女ノ第一子デ、出産ノ際 醫師ハ鉗子ヲ用ヒテ分娩セシメタトコロ、ソノ時 既ニ左眼球ハ突出シテキタト云フ。ソノ翌日ノ状態ハ 寫眞圖ニ見ル如ク、左眼球ハ輪裂外ニ突出シ、外部ニ現ハレタ球結膜ハ 著シク浮腫狀ト呈シ、角膜ハ幾分濁濁シ、眼球運動ハ著シク制限セラレテキル。恐ラク眼窩内ニ 出血デアツテ ソレニヨツテ押出サレタカト思ハレル状態デアル。脱臼以外ニハ 輪裂等ノ裂傷モナク、觸診上 骨折等モナイ。眼底ヲ見ルニ 網膜出血ガアツタガ、脱臼ト關係アルカ否カハ 不明デアル。

唯保護的ノ處置ヲトリ 經過ヲ見タトコロ、自然ニ整復シ、分娩後 4日目ニハ 眼球ハ全ク輪裂内ニ入ツタ。併シ角膜濁濁ハ依然トシテアリ、6日目ニハ 眼球ハ良ク動き、上下左右運動ニ障碍ガナイモノノ様デアル。2週間ノ後 角膜透明ニ傾キ、幾分濁濁ヲ認メル程度トナツタ。

382. 眼球萎縮 Atrophia bulbi.

全眼球炎 角膜實質炎 角膜軟化 淋菌性結膜炎 匍行性角膜潰瘍 交感性眼炎 線内障 眼球内寄生蟲 外傷 其ノ他ニ因ツテ 重篤ナル纖維素性虹彩毛様體炎 Iridocyclitis fibrinosa 又ハ 化膿性虹彩毛様體炎 Iridocyclitis suppurativa ガ起リ 毛様體ノ機能ガ減退スル時ニハ、眼壓ハ下降シ、眼球ハ軟クナリ、更ニ 硝子體萎縮 網膜剝離等ガ起ツテ失明シ、眼球ハ 數月乃至數年ノ間ニ 徐々ニ萎縮スル。之レヲ眼球萎縮 Atrophia bulbi ト稱スル。萎縮シタ眼球ハ 通常 内外上下ノ四直筋ノ加壓ニヨツテ 四角形トナシ、組織的ニハ 角膜濁濁 虹彩萎縮 白内障 硝子體萎縮 網膜剝離 等ガ見ラレル。時ニハ 眼球内ニ 骨形成ヲ證明スルコトガアル。一般ニ 眼球萎縮ニヨリ 毛様體炎 及ビ 疼痛ハ 消失スルヲ當トスルガ、時ニハ 毛様體炎ガ再發スルコトモアル。高度ノ眼球萎縮ヲ 眼球癆 Phthisis bulbi ト稱スル。

療法。義眼ヲ挿入スルコトニヨツテ 外貌ヲ整ヘルコトガ出來ル。

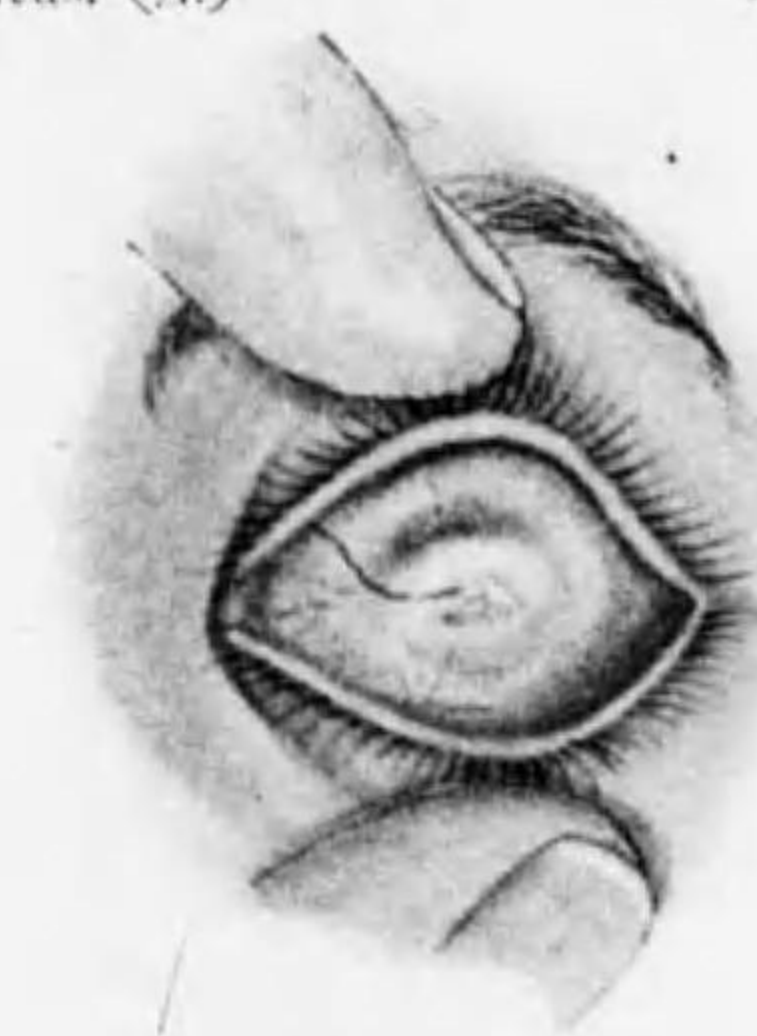
本例ハ 17歳ノ男子ニ於ケル眼球萎縮デ、同時ニ帶狀角膜濁濁 Opacitas corneae zonularis ガ見ラレル。



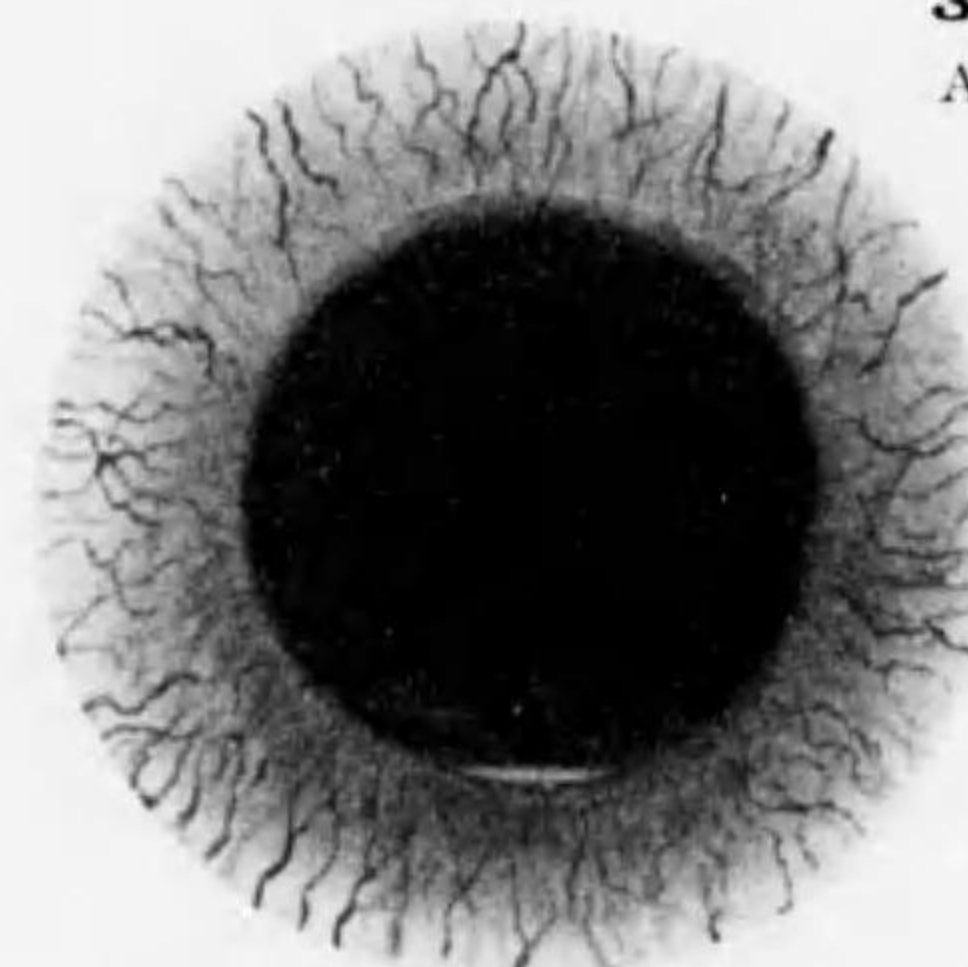
380. 先天小眼球 Microphthalmus congenitus. (左)



381. 外傷性眼球脱臼 Luxatio bulbi traumatica. (左)



382. 眼球萎縮 Atrophia bulbi.



383. 黄疽出血性スピロヘータ病 Spirochaetosis icterohaemorrhagica =於ケル 葡萄膜炎 Uveitis.



384. 383.ノ硝子體濁濁 Opacitas corporis vitrei. (微照圖)

383. 384. 黃疸出血性スピロヘータ病 Spirochaetosis icterohaemorrhagica ニ於ケル 葡萄膜炎 Uveitis.

黃疸出血性「スピロヘータ」病(ワイル氏病)ノ經過後 多クハ 1箇月半乃至 6箇月ノ間ニ 葡萄膜炎ヲ起スコトガアル。多クノ場合 外觀上著シイ炎症々狀ガナク 所謂漿液性葡萄膜炎トシテ現ハレ 硝子體濁濁ヲ起スガ、比較的稀ニハ 急ニ 角膜周擁充血ガ現ハレ、著明ナ葡萄膜炎ヲ起シ、前房蓄膿 虹彩後癒着 及ビ 高度ノ硝子體濁濁 等ヲ伴フコトガアル。

本例ハ 32歳ノ女子デ、黃疸出血性「スピロヘータ」病ノ經過後 約 2箇月半頃、右眼ニ 發赤 霧視 羞明 等ガ起リ、徐々ニ増悪シタノデ、發病後 約 20日經ツテカラ 受診シタモノデアル。視力ハ 0.04 (矯正不能)。角膜周擁充血稍、強ク 少量ノ前房蓄膿ガ認メラレ、虹彩ハ 腫脹 濁濁シ、瞳孔ハ 對光反應遲鈍デ、數箇所ニ 虹彩ノ後癒着ガアル。硝子體ニハ 無數ノ微細點狀ノ濁濁ガ認メラレ、其ノ間ニ 大キナ紐狀ノ濁濁ガ混在シテ 浮動シテ居リ、眼底ハ 見得ナカッタ (384.)。

治療法トシテ「アトロピン」點眼、温罌法 前房穿刺、全身的ニ「ヨードカリ」ノ内服 水銀劑ノ注射 等ヲ行ツタトコロ、約 1週間デ 前房蓄膿ガ消失シ、約 40日ノ後ニハ 眼球ノ炎症々狀ガ去ツテ、視力ハ 0.4マデ恢復シタ。

尙ホ此ノ患者ハ 黃疸出血性「スピロヘータ」病ノ經過後 約 1箇月半頃ニ 左眼ニモ 葡萄膜炎ヲ起シタガ 直チニ醫療ヲ受ケテ輕快シタト云フ。

第九篇 眼窩疾患

(LXXV—LXXXI)

**LXXV. 炎症**

(385, 386, 387, 388, 389.)

LXXV. 炎症

385. 漿液性眼窩蜂窩織炎 Cellulitis orbitalis serosa.

漿液性眼窩蜂窩織炎ノ症狀ハ 眼瞼及ビ球結膜ノ充血 浮腫、輕度ノ眼球突出、眼球運動ノ際ノ輕イ疼痛等デ、通常 2-3 週間テ治癒スル。病變ガ主ニ眼窩ノ前部ニ局限スルトキ之レヲ Tenonitis ト稱スル。

原因ハ 結核菌ニ因ル「アレルギー」性ノモノガ最多イ。感冒ニヨツテ誘發セラレルコトモアル。

治療法ハ「サリチル」酸劑ノ内服、發汗、局所ノ冷罌法(初期ニ)乃至温罌法(恢復期ニ)等ガ奏効スル。

本例ハ 31 歳ノ男子デ、約 10 日前カラ 頭痛、感冒感ガアリ、一週間程前カラ 右眼ガ腫脹シ、次デ 眼痛ヲ覺エタ。體温ハ 37.2 位ニ昇リ、視力ハ 0.3 ニ下降シ、眼瞼ハ發赤 腫脹シ、球結膜ハ浮腫ヲ呈シ 充血シテキル。眼底ニハ 乳頭ノ充血ヲ見ルノミデアル。眼球運動ハ 各方面ニ制限セラレ、左眼ハ右眼ニ比シテ 約 5 mm ノ突出ヲ示シテキル。

386. 化膿性眼窩蜂窩織炎 Phlegmone orbitalis.

眼窩蜂窩織炎ハ 臨床上主要ナル眼窩疾患デアツテ、其ノ症狀ハ 眼瞼及ビ球結膜ノ充血 浮腫、眼球ノ突出、眼球運動ノ制限、視力障碍、視神經炎、頭痛、發熱 等デアル。原因トシテ 外傷、結核、微毒 隣接器官ノ炎症、例ヘバ 全眼球炎、副鼻腔炎、齒根骨髓炎 等ガ舉ゲラレ、又稀ニ 轉移性ニ 遠隔部位ノ 癰 癰 丹毒 急性傳染病 等カラ來ルコトガアル。組織的ニハ 概テ 血栓性靜脈炎 Thrombophlebitis 又ハ 靜脈周圍炎 Periphlebitis ノ像ヲ呈シテ居ル。良好ナル経過ヲトル時ハ 化膿スルコトナク吸收セラレ 治癒スルガ、多クハ化膿シ、眼窩内ニ膿瘍ヲ作ツテ 眼窩膿瘍 Abscessus orbitae トナル。通常 球結膜ニ破レテ排膿シ、4-5 週間ノ後 治癒スルガ、時トシテ 頭蓋内ニ進行シテ 腦膜炎ヲ起シ、又 海綿様竇血栓ヲ起スコトガアル。眼窩蜂窩織炎ハ 眼疾患トシテハ 重篤ナルモノノ一デアツテ、其ノ豫後ヲ定ムルニ當ツテハ 慎重デナケレバナラナイ。即チ 視力ニ關シテハ 視神經炎、網膜血管ノ栓塞 及ビ 血栓、網膜出血、網膜剝離、角膜潰瘍 等ハ屢ニ見ラレ、之レガ爲メ 失明ニ終ルコトモ決シテ稀デナイ。眼窩蜂窩織炎ノ治療法ハ 先ヅ原因ヲ除キ、局所ニハ 初期ニ於テ 氷又ハ 冷罌法、進行停止シテ恢復期ニ向ヘバ 温罌法、膿瘍ヲ證明スレバ 切開排膿スル。其ノ他 異種蛋白療法、「サリチル」酸劑ノ内服 等ヲ行フ。

本例ハ 20 歳ノ男子ニ於ケル眼窩蜂窩織炎デ、約 5 日前カラ 眼瞼及ビ眼球ノ腫脹 疼痛 發熱ガ初マリ、現在デハ 球結膜ノ著シイ浮腫 充血ガ見ラレル。視力ハ 0.5(0.8 × -0.5D)ニ低下シタ。

387. 眼窩ゴム腫 Gumma orbitae.

眼窩ノ微毒ハ 概テ其ノ第三期ニ 微毒性骨膜炎ノ形テ現レルガ、又 眼窩「ゴム」腫トシテ來ルコトモアル。多ク單側ニ現レルガ、又 兩側對稱性ニ來ルコトモ稀デナイ。微毒性眼窩骨膜炎ノ好發部位ハ 眼窩緣 殊ニ 上眼窩緣 及ビ 眼窩深部ノ骨壁デ、急性ニ經過シ 眼窩緣骨壁ノ腫脹 眼瞼腫脹 眼球突出 眼球偏位 等ヲ來スモノデ、觸診スル時ニハ 硬イ骨ニ附着セル腫瘍ヲ觸レ 屢ニ 眞性腫瘍ト誤リ易イガ、壓痛ト 夜間ニ増悪スル疼痛トニヨツテ 之レト區別スル。尙ホ 顔面骨及ビ頭蓋骨ニ同様ノ變化ガアル時ニハ 診斷ハ容易トナル。治療ヲ加ヘナイ時ニハ 腫瘍ハ軟化シ、皮膚ヲ破リ、瘻孔ヲ形成スル。眼窩「ゴム」腫ハ 慢性症狀ヲ呈シ、其ノ好發部位ハ 微毒性眼窩骨膜炎ノ夫ニ畧ニ等シイ。眼窩微毒ガ 眼窩深部ノ骨壁ニ原發シタ時ニハ 診斷ハ困難デ、屢ニ 惡性腫瘍ト誤ラレ 眼窩内容除去術ヲ受ケタ例モ稀クナイ。尙ホ 兩側對稱性ニ來タ場合ニハ 眼窩ノ淋巴腫ヲ 白血病性或ハ 假性白血病性腫瘍ト 類似ノ像ヲ呈スル。一般ニ 眼窩微毒ニハ 屢ニ 感覺及ビ運動神經障碍ヲ伴フモノデ、殊ニ 上眼窩破裂附近ニ 病竈ガアル場合ニハ 著シイ。高度ノ視力障碍ガ起ルコトハ稀デナイ。其ノ原因ハ 微毒性視神經周圍炎 又ハ 腫瘍ノ壓迫ニヨル循環障碍デ、早期ニ 驅微療法ヲ行フ時ニハ 視力ニ對スル豫後ハ 比較的良好デアル。

療法。驅微療法。

本例ハ 56 歳ノ男子ニ於ケル 眼窩内背部ノ「ゴム」腫デアル。患者ハ 20 歳ノ時ニ微毒ニ罹ツタト云フ。驅微療法ヲ行ツタ處 著効ヲ奏シ 數週ニシテ治癒シタ。



385. 漿液性眼窩蜂窩織炎  
Cellulitis orbitalis serosa.



386. 化膿性眼窩蜂窩織炎  
Phlegmone orbitalis.



387. 眼窩ゴム腫  
Gumma orbitae.



388. 結核性眼窩骨膜炎  
Periostitis orbitalis tuberculosa. (左)



389. 炎性偽腫瘍  
Pseudotumor inflammatorius. (左眼窩)



388. 結核性眼窩骨膜炎 Periostitis orbitalis tuberculosa. (左)

眼窩結核ハ多クハ淚囊 淚腺 副鼻腔 等ノ隣接器官ノ結核ニ續發シテ又ハ遠隔部位ノ結核ヨリ血行ニ介セラレテ起ル。時ニハ脈絡膜 視神經 等ノ結核ノ波及ニヨツテ起ルコトガアル。20歳以下ニ多イ。眼窩結核ハ種々形ヲ現レルガ、眼窩縁ノ骨膜炎トシテ現レルコトガ最モ多ク、球後組織ノ結核ハ稀ナル。眼窩縁ノ結核性骨膜炎ハ眼窩ノ上外部ニ好發シ、眼局性ノ膿瘍、腐骨瘻管等ヲ形成シ、屢ニ眼窩骨ニ癒着シテ深ク陷凹シテ皮膚瘻瘻ガ生ジテ眼瞼外反カ起ル。

本例ハ10歳ノ女兒ニ於ケル眼窩縁ノ結核性骨膜炎デ、眼窩骨壁ノ破壊著シク、眼窩ト鼻腔ハ廣ク交通シテ居ル。

389. 炎性偽腫瘍 Pseudotumor inflammatorius. (左眼窩)

臨床上ノ諸徴候ニヨリ眼窩腫瘍ノ診斷ヲ附ケルベキナルガ、其ノ後ノ經過又ハ組織的所見カラ眞性腫瘍デハナクシテ病因不明ノ慢性眼窩炎症ナルコトガ證明セラレタ時ニハ之ヲ眼窩炎性偽腫瘍ト稱スル。炎性偽腫瘍ノ原因トシテ結核 微毒 血液病 其ノ他ガ想像サレテ居ル。時ニハクレンライン Krönlein 氏手術ニヨルモ、何等ノ眼球突出 其ノ他ノ原因タル腫瘍ヲ發見シナイコトガアリ、又膿胞様病竈ヲ發見スルコトモアル。

療法。「ヨードカリ」水銀劑 砒素劑 フ試ミル。「レントゲン」線照射、クレンライン氏手術ガ奏効スルコトモアル。

本例ハ23歳ノ男子ニ於ケル左眼ノ眼窩炎性偽腫瘍ナル。三年前左眼ニ眼球突出 其ノ他ノ眼窩腫瘍ノ徴候ガ出現シタガ、其ノ後自然ニ治癒シタ。約一年前再ビ眼窩腫瘍ノ徴候ガ現ハレ某病院ニテ眼窩内容除去術ヲ受ケタガ、其ノ後再發シタモノナル。ワ氏反應 ツベルクリン反應 共ニ陰性デ、血液像ニモ異常ハナカツタ。組織的ニハ淋巴腫様ノ部分ガアツテ、其ノ周圍ニハ「エオジン」嗜好細胞ヤ「プラスマ」細胞ガ多クアリ、炎症性ノモノナルコトガ知ラレタ。

**LXXVI. 良性腫瘍 其他**

(390, 391, 392, 393.)

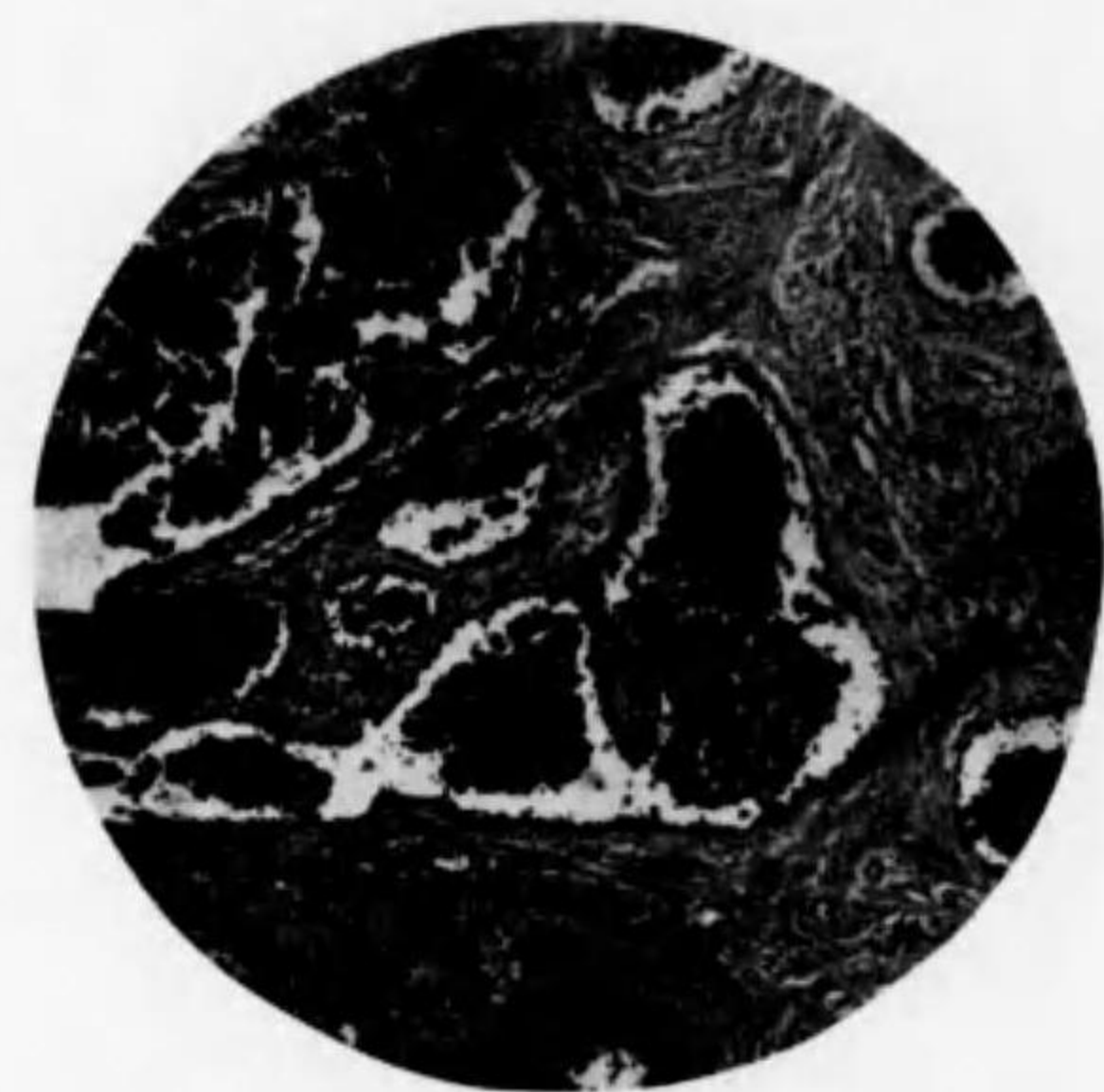
LXXVI. 良性腫瘍 其他

390. 眼窩血管腫 Haemangioma orbitae. (左)

眼窩血管腫ハ 眼窩諸腫瘍中 比較的の多ク見ラレル良性腫瘍デ。組織學上 單純性血管腫 Haemangioma simplex ト 海綿様血管腫 Haemangioma cavernosum トニ分ラレテ居ルガ、眼窩ニ於テハ 後者ハ前者ニ比シテ 遙ニ多ク見ラレル。屢ニ同時ニ 他ノ身體部位 例ヘバ 眼瞼 舌 等ノ血管腫ヲ合併シテ居ル。眼窩血管腫ニ於テハ 眼球突出ガ主ナル症狀デアルガ、眼窩ニ鬱血ヲ惹起スルヤウナ條件 即チ 頭部ノ前屈 スハ 頸部ノ壓迫等ニヨツテ 腫瘍ハ増大シ、從ツテ 眼球突出ハ 強度トナル。眼窩血管腫ハ 概シテ徐々ニ 數年ヲ經テ成長シ、眼球突出 鬱血乳頭 視神經萎縮 等ヲ招來スルモノデ、時ニハ 腫瘍ガ前方ニ増大シテ 結膜下又ハ眼窩ニ 青赤色ノ隆起トシテ現レルコトガアル。一般ニ眼窩血管腫ハ 柔軟デ 被壓縮性ヲ有シ、複視及ビ疼痛ガ起ルコトハ 極メテ稀デアル。

療法。電氣分解 レントゲン照射 摘出手術 等。

本例ハ 19歳ノ男子ニ於ケル 左眼ノ眼窩血管腫デ、約8箇月前カラ 左眼下眼瞼ト鼻梁トノ間ニ 腫隆ノアルノニ氣付イタノデアルガ、夫レガ漸次増大シテ 今日デハ 拇指頭大ニナリ、其ノ上ノ皮膚ハ 稍紫赤色ヲ帶ビテアル。自覺的ニ 疼痛等ハナク、腫物ハ 皮膚ト癒着セズ、硬度ハ 弾力性軟、眼底ニハ 鬱血乳頭ガアリ、眼球突出ハ 健眼11耗ニ對シ 患眼14耗デアツタ。視力ハ 健眼1.0 患眼0.5。皮膚ヲ切開シテ摘出シテ腫物ハ 肉眼的ニ暗紫色ヲ呈シ、顯微鏡的ニハ第38圖ノ如ク 海綿様血管腫ニ屬シ、實質ハ擴張セル毛細血管ヨリ成リ、間質ハ豊富ナル結締組織纖維 及ビ紡錘形細胞ヨリ成ツテ居テ、纖維血管腫トモ稱ス可キ所見デアル。



第38圖 眼窩血管腫組織圖 擴大約50倍

391. 眼窩纖維腫 Fibroma orbitae. (右)

纖維腫ハ 結締組織細胞及ビ之ヨリ形成セラレタ結締組織纖維ヲ實質トシ、血管或ハ血管結締織ヨリ成ル間質ヲ有スル良性ノ腫瘍デアル。眼窩ニ纖維腫ガ來ルコトハ 比較的稀デアル。時ニハ 混合腫トシテ 血管纖維腫 Angiofibroma 粘液纖維腫 Myxofibroma 纖維脂肪腫 Fibrolipoma 等ノ形デ來ルコトガアル。眼窩纖維腫ハ 性別年齢ヲ問ハズ出現シ、徐々ニ擴大シテ 眼球突出 眼球偏位ヲ起シ、屢ニ 視神經ヲ侵シテ 鬱血乳頭 視神經萎縮ヲ招來スル。

療法トシテハ 早期ニ摘出ヲ行フ。完全ニ腫瘍ヲ摘出シ得ク時ニハ 再發ハ起ラナイ。

本例ハ 4歳ノ男兒ニ於ケル 右眼ノ眼窩纖維腫デアル。腫瘍ノ高度ノ擴大ニヨリ 眼球ハ 脫白シテ 瞼裂外ニ出デ、眼球ハ 既ニ萎縮ニ陥ツテ居ル。



390. 眼窩血管腫  
Haemangioma orbitae. (左)



391. 眼窩纖維腫  
Fibroma orbitae. (右)



392. 無眼球ニ合併シテ眼窩囊腫  
Orbitaleyste. (右)



393. 眼窩内出血  
Haemorrhagis orbitae. (右)

392. 無眼球ニ合併シタ眼窩囊腫 Orbitaleyste. (右)

臨床は無眼球ト稱セラレルモノデ 下眼瞼皮下ニ波動性ノ囊腫ヲ觸レル事ガアル。組織的ニ検査スルト、囊壁ハ鞏膜組織デアツテ、ソノ内面ニハ第二眼胞ノ一二葉ヲ持つテ居ル。即チ著シク擴張セラレタ葡萄膜缺損ト見ラルベキモノデ、從ツテ多クハ囊腫ニ接シテ眼球ノ痕跡ヲ發見スル。カハル囊腫ヲ眼窩囊腫ト謂フ。

本例ハ生後2箇月ノ女兒デ、出生時ヨリ右下眼瞼ニ雀卵大ノ腫瘍ガアツテ、瞼裂ヲ開クコトナシニ今日ニ及ンダモノデ、腫瘍ノ大サハ餘リ増大ヲ示サナイトノコトデアル。妊娠 出産 共ニ順調デアツタ。同胞四人デ、他ノ三人及ビソノ他家族ニハ特記スベキ事項ガナイ。圖ニ示ス如ク右下眼瞼皮下ニ雀卵大ノ腫瘍ガアツテ、瞼裂ハソノ爲ニ上方ニ凸ナル弧線ヲナシテ閉鎖サレテ居ル。腫脹部ノ皮膚ハ僅カニ青色ヲ帯ビテ居ル。腫瘍ハ觸レテ見ルト弾張性デ波動ガ著明デアル。穿刺ニヨツテ透明ナル漿液性ノ内容物ヲ得タ。瞼裂ヲ開イテ見ルト、結膜囊ハ狭小デアツテ、臨床的ニハ眼球ヲ認メルコトガ出来ナカツタ。

393. 眼窩血腫 Haematoma orbitae. (右)

眼窩血腫ノ主要症候ハ眼球突出デアル。血腫ハ概ネ球後ニ於テ起リ、眼球ハ前方ニ突出スル。稀デハアルガ骨膜下ニ出血ガ起ル時ニハ、眼球ハ側方ニ突出スル。經過ハ種々デ、數日乃至數週後ニ出血ガ自然ニ吸收サレテ何等ノ障礙ヲ胎サヌ場合ト、結締織ニ包マレテ血腫ヲ形成シ、數年後ニ尙存在スルコトガアル。眼窩内出血ハ外傷性ト特發性トニ區別スルガ、前者ハ後者ニ比シテ遠ニ多イ。眼動脈又ハ其ノ主要枝ガ傷ケラレテ起ツタ外傷性眼窩内出血デハ、高度ノ眼球突出ガ起ツテ、兎眼トナリ、眼球運動ハ全然中絶セラレ、球結膜ハ紫赤色ニ堤狀ニ腫脹シテ、特異ナル臨床像ヲ呈スル。

療法。温巻法等ニヨリ吸收ヲ促進スル。血腫ハ穿刺ニヨリテ内容ヲ排出セシメルカ、又ハ之レヲ摘出スル。

本例ハ4歳ノ女兒ニ於ケル右眼ノ眼窩血腫デアル。原因不明。10日前ヨリ右眼突出シ、其ノ高さ左眼12耗ニ對シ、右眼24耗アリ。壓痛其ノ他自覺的ニ異常ナク、視力モ正常デアル。穿刺ニヨリテ血液様ノ液ヲ得タ。

**LXXVII. 惡性腫瘍**

(394, 395, 396, 397.)

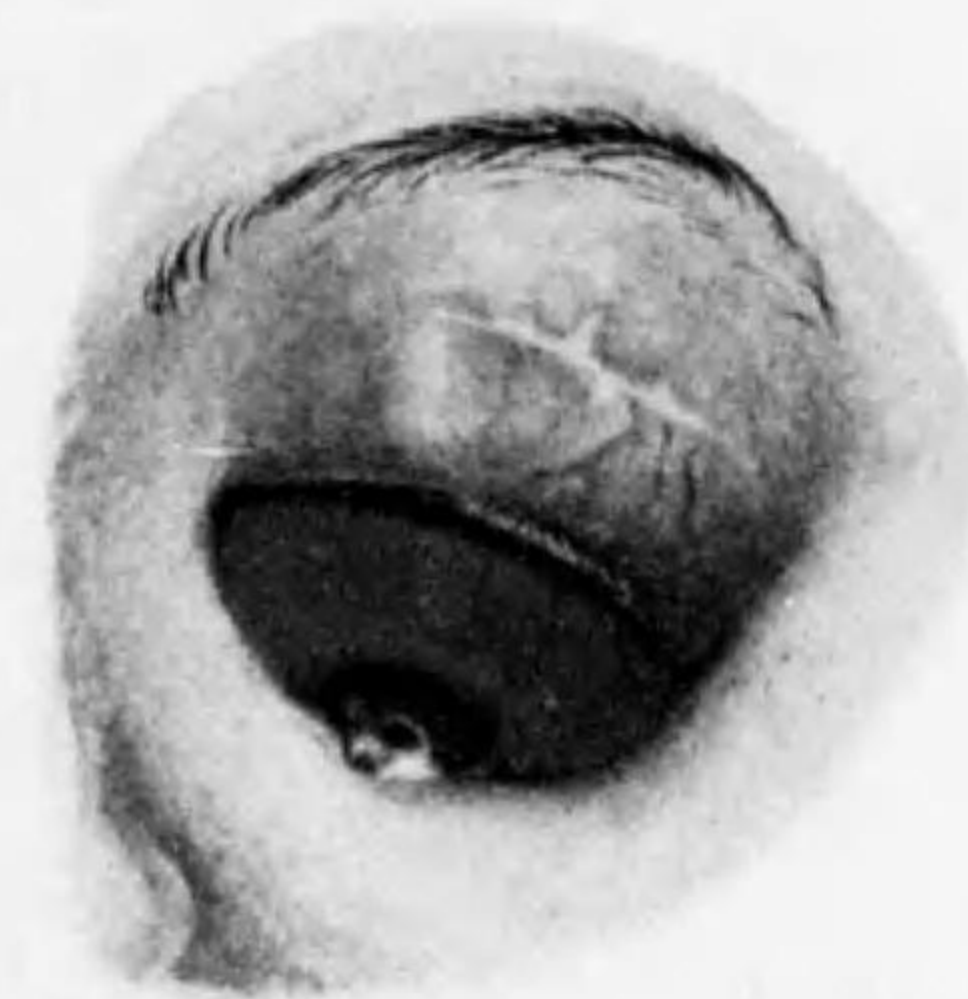
## LXXVII. 悪性腫瘍

## 394. 圓形細胞肉腫 Rundzellensarcom.

眼窩=原發スル諸肉腫中 最も多く見ラレルノハ 圓形細胞肉腫ナル。眼窩圓形細胞肉腫ハ 年齢ヲ問ハズ出現スルガ、幼年及ビ老年ニ於テ 特ニ屢ニ現レル。其ノ悪性ノ度ハ 種々ナルガ、幼年者ニ來クモノハ 特ニ悪性ナル。好發部位ハ 眼窩ノ上部デ、球後ニ來ルコトハ稀ナル。眼窩圓形細胞肉腫ノ症狀ハ 他ノ眼窩肉腫ニ於ケル如ク 疼痛 眼球突出 眼球偏位 眼運動障碍 視力障碍 等ヲ以テ始マル。其ノ硬度ハ 比較的柔軟デ、且ツ 隣接ノ淋巴腺ヘノ轉移ハ稀ナル。之ヲ放置スル時ニハ 通常 上眼窩破裂 視神經管 等ヲ經テ 或ハ 眼窩骨壁ヲ破ツテ 頭蓋腔ニ出デ、又ハ 鼻腔乃至副鼻腔ヲ經テ 大脳ヲ侵ス。

療法。腫瘍ノ擴大ノ程度ニ應ジテ クレンライン氏手術 又ハ 眼窩内容除去術 等ヲ行フ。但シ再發シ易イ。其ノ他「レントゲン」線照射ニ有効ナル。

本例ハ 43歳ノ男子デ、四五箇月前ヨリ眼病ミ、約一箇月前ヨリ 右眼漸次突出シ、視力減退シク。現在 右眼ノ視力0.2デ、眼底ニハ 鬱血乳頭ガアリ、眼球ハ突出シテ 外方ニ壓迫セラレ、眼球ノ運動ハ 制限セラレテキル。眼窩ノ上内壁ニ近ク 軟骨様硬度ノ 表面滑カナ腫瘍ヲ觸レタ。手術ニヨリ 腫瘍ノ一部ヲ切除シ 鏡檢シタ結果 大粒圓形細胞肉腫ナルコトガ知ラレタ。「レントゲン」線照射ニヨリ 稍縮小シタガ 其ノ後 マタ再發シタト云フコトナル。

394. 圓形細胞肉腫  
Rundzellensarcom. (右)395. 紡錘細胞肉腫  
Spindelzellensarcom.

## 395. 紡錘細胞肉腫 Spindelzellensarcom.

眼窩肉腫ハ 眼窩悪性腫瘍中 最も屢ニ見ラレルモノデ、内被細胞腫 Endothelioma 粘液肉腫 Myxosarcoma 圓形細胞肉腫 Rundzellensarcom 紡錘狀細胞肉腫 Spindelzellensarcom 纖維肉腫 Fibrosarcoma 等ノ形デ來ル。之レ等ノ諸眼窩肉腫ハ 眼窩=原發スルコトガ多ク、他ヨリノ轉移ニヨツテ起ルコトハ 稀ナル。眼窩ニ於ケル原發癌ハ 骨膜、骨、筋肉、涙腺、視神經 等ノ結締織ニ生ズルガ、就中 骨膜ヨリ發生スルコトガ最も多イ。眼窩肉腫ノ成長ハ極メテ速デ、全眼窩ヲ充タシ、眼球ヲ壓出シ、近隣ノ淋巴腺 及ビ 骨 等ヲ侵シ、次イテ他ノ重要器官 殊ニ大脳ニ轉移シ、死ヲ轉歸ヲ取ルコトガ多イ。

療法。外科的手術 及ビ「レントゲン」線照射「ラヂウム」療法等。

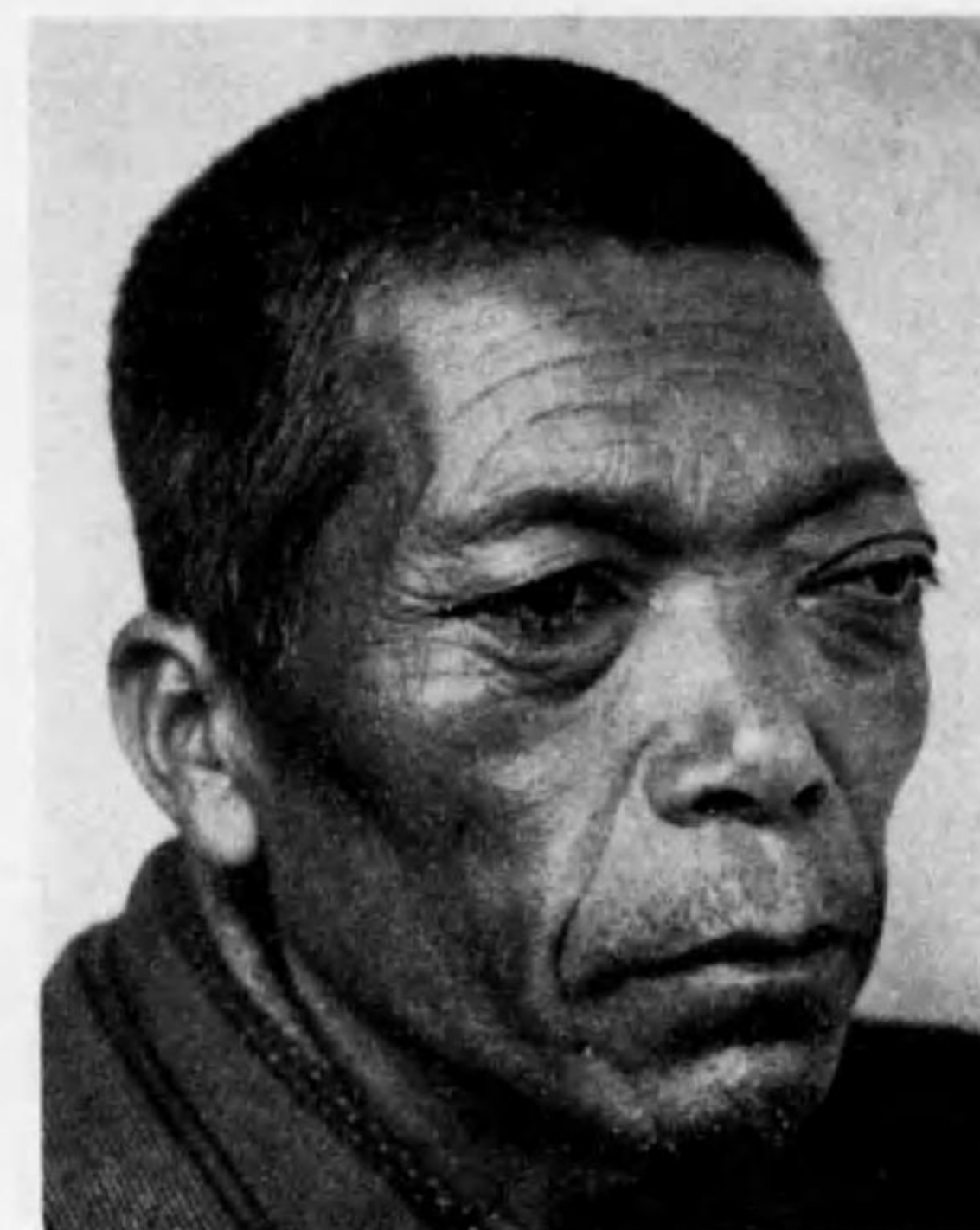
本例ハ 11歳ノ女子ノ左眼ニ於ケル眼窩肉腫デ、約2箇月前カラ 腫瘍ノ發生ヲ見、漸次ニ増大シ、眼球ハ殆ト脱臼状態トナツタ。腫瘍ノ表面ハ平滑ナルガ、皮膚ニハ 著明ナ鬱血ガ見ラレ、球結膜ニハ 著明ナ浮腫ヲ見、角膜ニハ 充血ニヨリ潰瘍ヲ見ル。觸診ニヨリ 彈性硬固デ、一部ハ 眼窩上縁ト癒着シテキルコトガ知ラレタ。試験切片鏡檢ノ結果 紡錘細胞肉腫ナルコトヲ知リ、「レントゲン」線療法ヲ行ツタガ 奏効セズ。依テ 眼球ト共ニ腫瘍ヲ摘出シタ後 更ニ「レントゲン」線照射ヲ行ツタ。

## 396. 副鼻腔ヨリ發生シタ癌腫 Carcinoma. (左)

眼窩癌腫ハ 多く 眼瞼 淚囊 結膜 副鼻腔 等ノ癌腫ニ續發シテ生ズルモノデ、眼窩=原發スルコトハ 極メテ稀ナル。概テ早期ニ 眼瞼腫脹 結膜浮腫 角膜潰瘍 等ノ症狀ガ現レ、更ニ 眼窩骨膜 鞏膜 視神經 等ガ侵サレ、遂ニ 眼窩内ハ癌腫細胞ニヨツテ充タサレ、眼球ハ包埋サレテ 眼球癆ニ陥ル。時トシテ 稀デハアルガ 乳癌 子宮癌 等ノ遠隔部位ノ癌腫ヨリ 眼窩ニ轉移ガ起ルコトガアル。コノ際ニハ 眼筋ガ先ヅ侵サレルコトガ多イ。

療法。クレンライン氏手術 眼窩内容除去術等ヲ行ヒ、尙ホ「ラヂウム」「レントゲン」線 等ノ照射ヲ行フ。

本例ハ 49歳ノ男子ニ於ケル 篩骨竇ノ癌腫ニ續發セル 左眼ノ眼窩癌腫ナル。患者ハ以前ヨリ 左ノ鼻ガツマツタ 鼻科醫ノ治療ヲ受ケテキタガ、約一箇月前カラ 左眼ガ 漸次突出シテ來タト云フ。現在 眼球ノ突出度ハ 右13耗ニ對シ 左21耗デ、8耗ノ差ガアル。耳鼻科デ 腫瘍ノ一部ヲ摘出シテ 癌腫ナルコトヲ知ツタ。

396. 副鼻腔ヨリ發生シタ癌腫  
Carcinoma. (左)397. 綠色腫  
Chloroma.

397. 綠色腫 Chloroma.

綠色腫ハ極メテ稀ナ腫瘍デ 骨膜下ニ生ズルコトガ多イ。頭蓋骨及ビ顔面骨ハ 其ノ好發部位デアル。概ネ幼若者ニ來ル。其ノ他 骨髓 淋巴腺 硬腦膜等ニモ發生スル。腫瘍ハ綠色ヲ呈シ、肉腫様ノ外觀ヲ呈スル。綠色腫ハ初メハ癌腫又ハ肉腫 殊ニ 淋巴肉腫ト考ヘラレテ居タガ。現今デハ 血液像ノ變化ヲ伴フ系統的疾患デアルコトガ明ラクナツタ。腫瘍ハ 疎ナ網狀結締織ト之レニ混ツテ居ル單核圓形細胞トヨリ成立シテ居ル。此ノ腫瘍ノ特徴トモ云フベキ綠色ノ本態ハ 不明デアル。腫瘍ノ組織的所見及ビ血液像ノ變化ヨリ 綠色腫ヲ 淋巴性綠色腫ト 骨髓性綠色腫トニ區別スルガ。前者ハ後者ニ比シテ 遙ニ稀デアル。經過ハ急速デ、多クハ 2-3 箇月デ死ノ轉歸ヲトル。療法トシテハ 白血病ト同ジク 砒素劑ノ内服「レントゲン」線ノ照射等ガ行ハレルガ。通常無効デアル。綠色腫ノ凡ソ四分ノ三ニ於テ 眼窩ニモ腫瘍ガ發生シ 之レガ爲メニ患者ハ貧血ヨリモ 眼球突出ヲ主訴トシテ 第一ニ眼科醫ニ診ヲ乞フコトガ多イカラ 注意ヲ要スリ。

本例ハ 6 歳ノ女兒ニ於ケル 眼窩綠色腫ヲ伴ヘル骨髓性綠色腫デアル。患者ハ 約一箇月前ヨリ高度ノ貧血 難聴ト共ニ 眼球突出ヲ認メタ。現在デハ 眼球ノ突出度ハ 右 23 耗 左 21 耗デ、兩眼共 眼球運動ノ制限 兔眼性角膜炎 鬱血乳頭ガ認メラレル。左右ノ顳額部ニハ 對稱性ニ 鶉卵大ノ 圓イ 低イ 軟骨様ノ硬サヲ有スル腫瘍ガ存在スルガ、炎性症狀ハ見ラレナイ。小兒科ニ於ケル 血球検査ノ結果ニヨレバ、赤血球ノ數ハ減少シ、「ミエロプラステン」「ミエロチーテン」等ノ病的幼型ノ白血球ガ 血液中ニ見ラレ、骨髓性白血病ノ血液像ヲ呈シテ居ル。其ノ後 出血性素因ガ現ハレ、眼球突出ハ 次第ニ高度トナリ、初診後約一週間デ 死ノ轉歸ヲトツタ。

病理解剖的所見ハ 腫瘍ハ身體諸部ニ 骨膜ニ沿ツテ多發シ、黃綠色ヲ呈シテ 硬イ。眼科ニ關シテハ 左右ノ眼窩上緣骨膜ニ沿ツテ 小指位ノ太サノ塊狀ノ綠色腫ガアリ、之カラ續イテ 幾分球後ニ及ビ、殊ニ 左側デハ 淚腺モ亦綠色ニ浸潤シテ居タ。眼球突出ハ 此ノ腫瘍ノ壓排ニ因テ起ツタモノデアル。又 視神經管ノ出口ニ 骨膜ニ沿ツテ 同ジク豌豆大ノ綠色腫ガ 左右共ニ發見サレタガ、鬱血乳頭ハ恐ラクコノ腫瘍ニ因ツテ起ツタモノデアラウ。

**LXXVIII. 眼球突出**

(398, 399, 400, 401.)



## LXXVIII. 眼球突出

## 398. バセドウ氏病 Morbus Basedowi.

本病ハ甲状腺ノ機能亢進ニヨツテ起ルモノデ、婦人殊ニ神經病性素因ヲ有スル中年ノ婦人ニ多イ。精神過勞 外傷 重篤ナル全身病ノ經過後 傳染病 等ニヨツテ誘發セラレコトモアル。バセドウ氏病ノ主要症候ハ速脈 甲状腺腫 及ビ 兩側ノ眼球突出デアル。ソノ眼科ニ關スル症候ハ 上眼瞼ノ牽縮ニヨリ 瞼裂ハ廣ク哆開シ、結膜ハコレニヨツテ露出セラレテ慢性結膜炎ニ陥リ、角膜ハ 眼球突出 及ビ 頻度甚ク少ナク且ニ不規則ナル瞬目 (Stellwag 氏症候) ノ爲メニ 屢ニ 兎眼ノ危險ガ生ズル。上眼瞼ノ下垂運動ハ 眼球ノ下向運動ニ遲レ (Graefe 氏症候)、幅轉不全 (Möbius 氏症候) ノ如クメ 眼精疲勞ガ起リ易イ。視力障碍ハ起ラナイガ、時ニハ 網膜動脈ノ搏動ガ見ラレルコトガアル。バセドウ氏病ニ於ケル 眼球突出ハ 通常兩眼ニ徐々ニ來リ、稀ニ左右初發ヲ異ニシ、又ハ 突出度ニ差ガアルコトガアル。一眼ノミノ突出ハ極メテ稀デアル。眼球突出ノ成因ニ就テハ 未ダ定説ガナイ。

本例ハ 40歳ノ女子ニ於ケル バセドウ氏病ニヨリ 右眼ノ眼球突出デアル。患者ハ二三年前ヨリ心悸亢進ガアリ、約四箇月前ヨリ右眼球ガ突出シテ來タ。全身的ニハ 脈搏頻數 多汗 震顫 等ガアリ、甲状腺腫大シテナル。眼科的ニハ 眼球突出 瞼裂哆開 Graefe 氏症候等ガアリ。内科デバセドウ氏病ト診斷セラレタ。

## 399. 搏動眼球突出 Exophthalmus pulsans. (左)

搏動眼球突出ハ 通常内頸動脈ガ 海绵竇ニ破レテ 上眼靜脈竇ニ眼高靜脈ニ動脈腫ヲ形成シテ起ルモノデ、眼球突出 眼球及ビ其附近ノ搏動 眼高部ニ於ケル騒鳴ヲ主徴トスル。眼球突出ハ カナリ高度デ 結膜及ビ眼瞼ニハ 擴張セル靜脈ガ見ラレ、眼高殊ニ其上緣及ビ内緣ヲ觸診スル時ニハ 搏動及ビ騒鳴ヲ感スル。聽診器ヲ上眼瞼ニ當テル時ニハ 著シキ騒音ガ聞エルガ、總頸動脈ヲ壓迫スル時ニハ コノ騒音ハ停止スル。眼球運動制限 視力障碍 瞳孔散大 光線反應遲鈍 外旋神經麻痺等ガ屢ニ見ラレル。眼底ニハ 網膜ノ靜脈性鬱血 乃至 網膜中心血管ノ壓迫ニヨリ 貧血ガ認メラレル。

本症ハ主トシテ外傷ニヨリ 又時トシテ特發性ニ來ル。原因トナル外傷ハ 頭蓋底骨折 内頸動脈ノ直接損傷 等ガ舉ゲラレテ居ル。外傷ヨリ 搏動眼球突出ノ症候ノ著明ナル迄ノ時期ハ 通常 2-3 箇月デアル。特發性ノモノハ 全身病ト關係ヲ有スルモノデ 妊娠 循環系統障碍「チフス」「マラリヤ」 瘧疾等ガ原因トナル。搏動眼球突出ガ自發的ニ治癒スルコトハ稀デアル。

本例ハ 31歳ノ男子ニ於ケル 搏動眼球突出デ、シベリアニ出征シタ際、氷原ニテ落馬シ、前額部ヲ打テ、其後約二箇年ニシテ 漸次ニ搏動眼球突出ノ症候ガ現ハレタモノデアル。

## 400. 401. 間歇眼球突出 Exophthalmus intermittens. (右)

直立ノ體位ニアル時ニハ 眼球ノ位置ハ正常デアルカ又ハ 嚔口陥没シテキルガ、眼窩内ニ鬱血ヲ來スガ如キ條件 例ヘバ 頭部ヲ前屈スルトカ 或ハ 頸靜脈ヲ指壓スルトカイフコトニヨツテ眼球突出ガ起ル時 之レヲ間歇眼球突出ト稱スル。本症ハ稀有ナ疾患デ 各年齢ヲ通ジテ現レルガ、殊ニ中年ノ人ニ多イ。片眼ニ發スルヲ常トスル。原因ハ眼窩内ノ靜脈腫ニ因ルモノデ、靜脈腫ノ位置ニヨリ 突出ノ方向モ一様デナイ。コノ靜脈腫ノ成因ニ關シテハ 未ダ定説ガナイ。屢ニ 同時ニ結膜 眼瞼 眼高緣等ニ 靜脈腫ガ認メラレル。間歇眼球突出ハ 概シテ何等ノ原因ナクシテ 數日又ハ數年ノ間ニ 徐々ニ發見スルモノデアルガ、時ニハ 身體過勞 又ハ 外傷等ニ續發シテ 突然ニ發スルコトガアル。本症ハ自然ニハ治癒シナイ。長ク持續スル時ニハ 多クノ場合 直立ノ體位又ハ背位ノ際 却ツテ眼球陥没ヲ見ルガ、之レハ靜脈腫ニヨリ 眼高脂肪組織ノ續發的ニ萎縮ニヨリモノデアル。視力障碍ハ通常起ラナイガ、靜脈腫ノ破裂ニヨリ 眼窩出血ガ起ルコトガアル。

療法。抱水「クロラール」注射、「レントゲン」照射、手術等。

398. バセドウ氏病  
Morbus Basedowi.399. 搏動眼球突出  
Exophthalmus pulsans. (左)400. 間歇眼球突出  
Exophthalmus intermittens. (右)401. 400. 患者ノ頭部ヲ前ニ傾ケ右  
眼球ノ突出ヲ示シタルモノ

本例ハ 32 歳ノ女子ニ於ケル右眼ノ間歇眼球突出デアル。患者ハ約 10 箇月前 第三回分娩後 俯  
スル時右眼ガ突出シ 其際眼瞼ハ暗紫色トナリ、且ツ重感ガ起ルノニ氣付イタ。眼球突出度ハ 其後次  
第ニ高度トナリ、正面ヲ向イテ時ノ眼球突出度ハ 右 12 耗、左 10.5 耗デ、顔面ヲ俯下スルコト 30 秒  
ニシテ 眼球突出度ハ 右 21 耗、左 12 耗トナリ、顔面ヲ正面ニ復スルコト 25-35 秒ニシテ マタ 舊位  
ニ復スル。

400. ハ正面ヲ向イタ時デ、右眼球ハ僅カニ突出シテキルガ、眉毛ト睫毛トノ間ガ 深ク陷凹シテキル。

401. ハ顔面ヲ下向ケサセタ所デ、右眼球ガ著シク突出シテキルノガ見ラレル。

**LXXIX. 副鼻腔粘液蓄積**

(402, 403, 404.)

## LXXIX. 副鼻腔粘液蓄積

## 402. 前額竇粘液蓄積 Mucocele. (右)

副鼻腔粘液蓄積トハ、副鼻腔ノ排泄管ガ閉塞シテ、其ノ分泌物タル粘液ガ、腔内ニ蓄積スルタメ、腔壁ガ漸次壓排セラレテ外方ニ向ヒ、囊腫狀ニ擴張シタモノヲ稱スル。本症ハ眼窩内ニ膨出スル場合ガ最も多イ。時ニハ、鼻咽腔、他ノ副鼻腔、頭蓋腔等ニ膨出スルコトガアル。原因ハ、副鼻腔又ハ其ノ排泄管ニ於ケル粘膜ノ炎症ニ基因シタ排泄管閉塞、又ハ、外傷デ、時ニハ、細菌ヲ、結核ニ因ル骨疾患ニ續發シテ起ル。本症ハ壯年者ニ多ク見ラレルガ、又、屢、40歳以上ノモノニモ來ル。眼窩ニ出現スル副鼻腔粘液蓄積ノ大部分ハ、前額竇及ヒ篩骨蜂窩ヨリ發生スル。上顎竇ヨリスルモノハ、遙ニ少ク、蝴蝶骨竇ヨリ發スルモノハ、極メテ稀デアル。本症ノ生長ハ極メテ緩徐デ、自覺症狀ヲ呈スル迄ニハ、數年乃至十數年ヲ經ルコトガアリ、其ノ經過中ハ、炎性症狀ハ現レナイ。其ノ主ナル眼症狀ハ、眼球突出、眼球偏位、複視等デ、時トシテ視力障害ガ現レ、又、眼底ニハ、乳頭充血、視神經炎、鬱血乳頭、視神經萎縮等ガ見ラレルコトガアル。副鼻腔粘液蓄積ノ表面ハ、平滑デ、周圍ノ組織ト癒着セズ、囊腫ノ性状ヲ有シテ居ル。其ノ内容ハ、無色黃色乃至褐色デ、濃密、粘稠、無臭ナル粘液ヨリ成リ、脱落シタ細胞、上皮細胞、遊走細胞等ヲ含有シテ居ル。細菌ハ證明サレナイ。

療法。種々ノ手術式ガアルガ、キリアン Kilian 氏手術ガ最も多ク用ヒラレテ居ル。

本例ハ、42歳ノ男子ニ於ケル、右眼ノ前額竇粘液蓄積ニ因ル、眼球突出デアル。約一年前ヨリ、右眼球ガ漸次突出シ、現在突出度、左18耗ニ對シ、右24耗デ、6耗ノ異常突出ヲ示シテキル。疼痛ニ、複視ニ、視力障害モナイ。突出シタ眼球ハ、外下方ニ偏位シテ居ル。キリアン氏手術ニヨリ、治癒シタ。

一般ニ前額竇粘液蓄積ハ、其ノ抵抗最も薄弱デアル眼窩ノ内上方、即チ滑車及ヒ眉毛内端ノ部位ガ膨出シ、從ツテ眼球ハ外下方ニ偏位スル。

## 403. 上顎竇粘液蓄積 Mucocele. (左)

本例ハ、49歳ノ女子ニ於ケル、左側ノ上顎竇粘液蓄積デ、約一年前カラ、左眼窩内背部ニ腫脹ヲ生ジ、流涙ガアツタ。現在、左眼窩内背部ニ、指頭大ノ隆起ガ見ラレ、皮膚トハ癒着セズ、境界ハ判然トシテ、骨ニ癒着シ、表面平滑、硬度ハ柔軟デ、波動ヲ觸レル。一般ニ上顎竇粘液蓄積ハ、其ノ内上方カラ、眼窩又ハ中鼻道ニ向ツテ膨出スル。

## 404. 蝴蝶骨竇及ヒ篩骨蜂窩粘液蓄積 Mucocele. (左)

本例ハ、68歳ノ男子デ、約25年前カラ、次第ニ左眼ノ眼球ガ突出スルノニ氣付イタ。當時専門醫ヲ訪レタトコロ、軟骨様ノモノガ視神經ヲ押シテ居ルト云ハレタトノコトデアルガ、極ク輕度ノ視力障害ノ外ニ、格別ノ苦痛ハナカッタノデ、ソノ儘放置シテ置イタ。左眼球ハ、強ク耳側ニ偏位シ、視力ハ零デアル。手術ノ結果、蝴蝶骨竇及ヒ左側篩骨蜂窩粘液蓄積デアルコトガ分ツタ。一般ニ蝴蝶骨ノ眼窩壁ハ、鞏硬デ、穿破シラズ、粘液蓄積ハ、寧ロ後鼻腔ニ膨出スル。篩骨蜂窩粘液蓄積ハ、菲薄ナ紙板ヲ破ツテ、前部及ヒ後部カラ、眼窩内ニ現ハレ、前部カラ發スルモノハ、内背部ニ膨出スル。

402. 前額竇粘液蓄積  
Mucocele. (右)403. 上顎竇粘液蓄積  
Mucocele. (左)404. 蝴蝶骨竇及ヒ篩骨蜂窩粘液蓄積  
Mucocele. (左)

**LXXX. 眼球陷沒**

(405, 406, 407, 408.)

LXXX. 眼球陷没

405. 外傷性眼球陷没 Enophthalmus traumaticus. (左)

外傷性眼球陷没ハ 眼窩ハ其附近ノ重キ外傷 殊ニ挫傷ニ續發シテ起リ。同時ニ眼窩縁及ビ其ノ近隣ノ皮膚 骨等ノ諸組織ノ損傷ヲ見ルコトガ多イ。外傷性眼球陷没ノ成因ニ就イテハ 多クノ場合 主トシテ 外傷ニヨツテ生ジタ眼窩壁ノ陷没ニヨル眼窩容積ノ増大ト。眼窩脂肪組織ノ著シキ萎縮ニ歸ス可キデアル。受傷ヨリ眼球陷没ノ發現ニ至ル期間ハ種々デ。數時間乃至數月ニ及ブコトガアル。外傷性眼球陷没デハ 同時ニ 兩眼窩ハ陷没シ 險裂ハ狭小ナルヲ常トスル。眼球及ビ視神經ハ 概ネ正常デアルガ。視神經部ノ損傷ニヨツテ 視神經萎縮ヲ起スコトモアル。

本例ハ 20歳ノ女子デ。大正十二年東京ニ於テ某會社ノ女工トシテ執務中 關東大震災ニ遭ヒ。煉瓦ノ下敷トナリ 人事不省ニ陥リ。左眼窩壁ニ骨折ヲ受ケ。前額部カラ出血シタ。其ノ後二箇月ヲ經テ左眼ノ陷没ヲ發見シタ。受傷三箇月後ノ状態ハ 寫眞ノ如クデ。前額及ビ左上頸部ノ皮膚ニ瘻痕カアリ 左眼窩壁ハ縮小シ 眼球ハ陷没シテキル。其ノ程度ハ 右 14 耗ニ對シ 左 8 耗デ。眼球ノ運動ハ各方面ニ制限セラレ。視力ハ 0.5 デ。眼底ニハ異常ガナイ。

406. 407. 408. 先天眼球後退 Retractio bulbi congenita. (右)

先天眼球後退ハ 通常一眼ニ來リ。通常患眼ヲ内轉セントスル時ニ現ハレ。同時ニ險裂ハ縮小スル。内轉運動ハ全ク正常カ 或ハ多少ノ障碍ヲ見ル。外轉運動ハ全ク不能ノコト多ク。時ニ僅ニ可能ノ場合モアル。稀ニ外轉強要ニ際シテ 輕度ノ險裂開大ト 眼球ノ前進ヲ認メルコトモアル。上轉下轉ニハ通常異常ハナイ。複視ヲ訴ヘタリ 又患眼ノ視力減退ヲ見タリスルコトハ尠イ。屢ニ眼球陷没ヲ伴ヒ 又正中視ニ於テ輕度ノ内斜ノ觀ヲ呈スルコトガアル。兩側性ノコトハ 比較的尠イ。一般ニ 所謂先天的眼筋異常ニ基ク眼球運動障碍ト考ヘラレテキル。手術ニ際シテ 往々外直筋ガ結締組織様ノ索狀化シテキルノガ見ラレ。又内直筋ノ鞏膜附着點等ニ異常ガ發見ヲレルコトガアル。

本例ハ 22歳ノ女子。幼少時ヨリ 右眼ハ斜視デアツタト云フ。平素頭ヲ右ニ廻轉シ 且ツ右方ニ傾斜スル傾向ガアツタ。其他特記スベキ眼症狀ヲ有シナイ。右眼ノ上轉下轉ニ異常ナク。又 左眼ノ運動其他ニ正常デアル。

右眼ヲ内轉スルト(左方視)眼球ハ稍下轉シツツ 約 3 耗許リ後退スル。險裂ハ正中視ニ於テ 右方ハ左方ニ較ベテ 2 耗程狭イガ。左方視ニ於テハ 右險裂ハ更ニ狭小トナリ。其差ハ 3 耗トナル。右眼ノ外轉ハ全ク不能デアツテ コノ際 斜視ハ最モ顯著トナル。患者ハ全然複視ヲ訴ヘズ。假像検査デハ眼位ニ相當シタ複像ヲ 證明スルコトガ出來ル。鑷子ヲ以テ角膜縁ヲ固定シテ 他動的眼球運動ヲ検査スルト。外轉ニ際シテ幾分ノ抵抗ヲ感ズル外ニハ 運動ハ自由デアル。

406. ハ正面ヲ見タ時デ。右(患)眼ノ險裂ハ 左(健)眼ヨリ 約 2 耗狭イ。

407. ハ右方ヲ見タ時デ。右眼ノ運動不能ノ爲メ 斜視ノ状態トナリ。眼球ハ稍前進シ。險裂ハ稍開大スル。

408. ハ左方ヲ見タ時デ。右眼球ハ約 3 耗後退シ 且ツ稍下轉シ。險裂ハ左眼ニ比シ 約 3 耗狭小トナル。



405. 外傷性眼球陷没 Enophthalmus traumaticus. (左)



406. 先天眼球後退 Retractio bulbi congenita. (右)



407. 406. 患者ガ右方ヲ視タ時



408. 406. 患者ガ左方ヲ視タ時

**LXXXI. 假性眼球突出・假性眼球陷沒**

(409, 410, 411, 412.)

LXXXI. 假性眼球突出・假性眼球陷没

409. 410. 強度ノ近視ニ因ル假性眼球突出 Pseudoexophthalmus.

眼球突出ハ 眼球ノ位置ノ前進ニヨツテ起ルモノデアルガ、牛眼又ハ強度ノ近視ニ於テモ亦 眼球自身ノ膨脹ニヨリ眼球ノ位置ニ何等變化ナキニ拘ラズ 眼球突出ヲ來スコトガアル。之レゾ眼球ノ位置ノ變化ニヨツテ起ル所ノ眞ノ眼球突出ニ對シテ 假性眼球突出ト稱スル。

本 例ハ 25 歳ノ女子ニ於ケル 高度ノ近視ニ因ル假性眼球突出デアル。兩眼共近視ノ度ハ約 20「ヂオプトリー」デ、眼球ノ突出度ハ 17 耗デアル。

411. 412. 強度ノ遠視ニ因ル假性眼球陷没 Pseudoenophthalmus.

眼球陷没ハ眼球ノ位置ノ後退ニヨツテ起ルモノデアルガ、眼球萎 縮 強度ノ遠視 先天小眼球等ニ於テモ亦 眼球自身ノ縮小ニヨリ 眼球ノ位置ニ何等變化ナキニ拘ラズ 眼球陷没ヲ見ルコトガアル。之レゾ眼球ノ位置ノ變化ニヨツテ起ル所ノ眞ノ眼球陷没ニ對シテ 假性眼球陷没ト稱スル。

本例ハ 16 歳ノ女子ニ於ケル 高度ノ遠視ニ因ル假性眼球陷没デアル。患者ノ兩親ハ血族結婚デ、同胞 8 人ノ内 4 人ガ患者ト同様ノ眼ノ状態デアル。患者ハ生來弱視デ、視力ハ兩眼共 0.1(0.2 × +

+18D) デアル。臉裂狭ク、眼球ノ高サハ 9.5 耗デ、眼底ニハ假性視神經炎ガアリ、檢影法デ 21D ノ遠視性亂視ヲ證明シ得ク。



409. 強度ノ近視ニ因ル假性眼球突出 Pseudoexophthalmus.



410. 409.患者側面圖



411. 強度ノ遠視ニ因ル假性眼球陷没 Pseudoenophthalmus.



412. 411.患者ノ側面圖



第十篇 其他ノ眼病

(LXXXII—LXXXIX)

**LXXXII. 先天異常**

(413, 414, 415, 416.)

LXXXII. 先天異常

413. 414. 全色盲 Achromatopsia totalis.

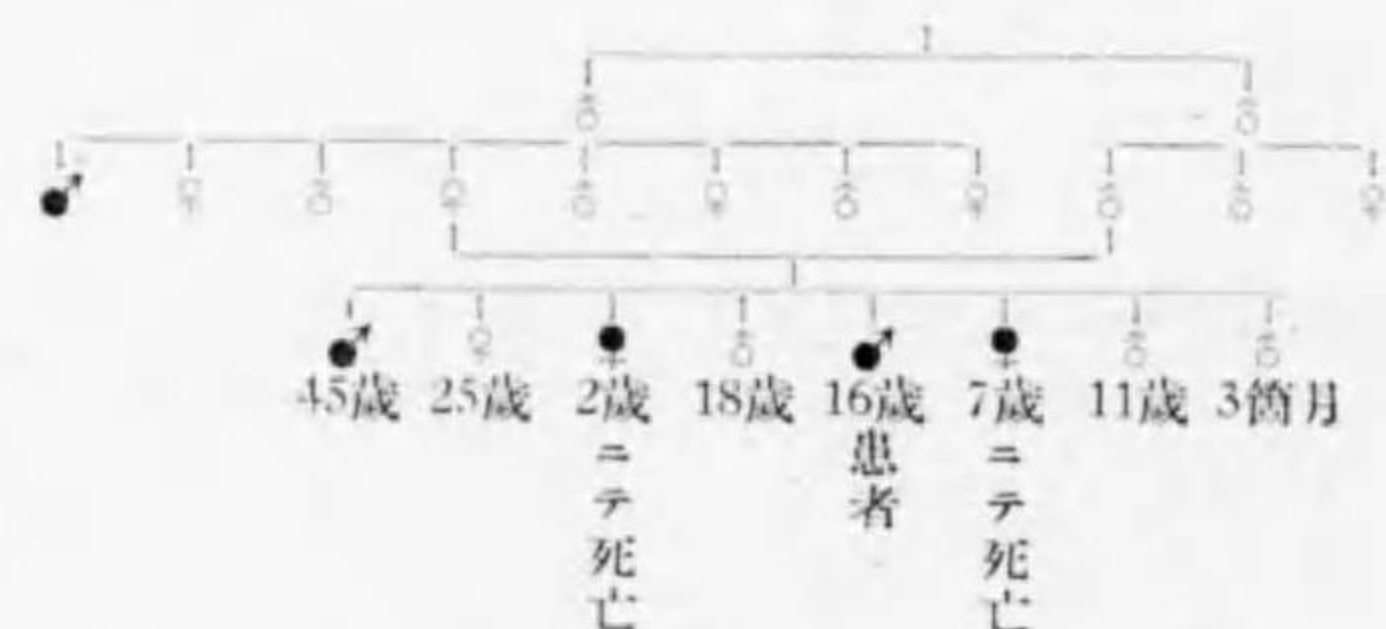
全色盲ハ甚ダ稀ナ先天異常デ、全ク色ヲ感ズルコトナク、外界ヲ見ルコト恰モ吾人ガ寫眞ヲ見ルガ如ク、無色乃至一色デ、唯明暗濃淡ヲ感ズルノミデアル。且ツ青色ハ明ルク、赤色ハ暗ク見ニ、弱視ガアツテ、視力ハ通常 0.08 位ニ減弱シ、明所ニ於テハ、視力ガ却テ減弱シ(晝盲)、且ツ羞明ガアツテ、眩裂ヲ細クシ、且ツ眼球震盪ガアル。兩親ノ血族結婚ノコトガ多い。

全色盲ノ網膜ハ、圓錐體ノ機能ヲ缺キ、桿狀體ノ機能ノミ存在スルモノト考ヘル時ハ、前述ノ症狀ヲ説明スルコトガ出来ル。

本例ハ 16 歳ノ男デ、全色盲者デアルガ、413. ハ明所ニ於ケル羞明ノ状態ヲ示シ、414. ハ稍、暗イ所ニ於テ羞明ノ無クナツク状態ヲ示シタモノデアル。

本患者ノ兩親ハ血族結婚デ、同胞 8 人中 4 人迄ガ羞明ト眼球震盪ガアツタト云フコトデアルカラ、全色盲デアツタモノト思ハレル。患者ハ兩眼共視力 0.1 デ、水平方向ノ眼球震盪ガアリ、物ヲ見ツメルト特ニ強クナル。

本例ノ家系圖ハ次ノ様デアル。黒ク書イタモノニ羞明ト眼球震盪ガアツタ。



第 39 圖 全色盲者ノ家系圖

415. 塔形頭蓋 Pyrgocephalus, 視神經萎縮 Atrophia nervi optici.

頭蓋ノ先天異常デ、頭蓋骨縫合ガ早期ニ硬化シタモノデ、從ツテ頭蓋ハ小サクシテ、腦ノ發育ニ隨伴スルコトガ出来ズ、身體ノ發育スルニ從ヒ、頭ガ小サクテ、顔面ガ大ナクナリ、一種特異ノ顔貌ヲ呈スル。夫レガ爲メ、視神經ハ壓迫ヲ受ケ、視神經炎乃至鬱血乳頭、或ハ視神經萎縮ヲ起ス。豫後不良。

本例ハ 2 歳ノ乳兒デ、「目ガ見ニイライシ」と云フ訴ヘテ受診シタモノデアル。

眼底ニハ視神經萎縮ヲ見、眼ハ完全ニ失明シテ居ルラシク、瞳孔ノ對光反應ニ消失シテ居ル。

416. 腦水腫 Hydrocephalus, 視神經萎縮 Atrophia nervi optici.

腦水腫ハ多ク先天性デアツテ、腦室中ニ腦脊液ガ蓄積シテ、腦壓ヲ高メ、臨牀的ニハ、頭蓋骨ノ畸形ヤ、ソノ外、神經系統ニモ病變ヲ見ルケレドモ、眼科的ニハ、視神經ノ炎症ヤ、萎縮ガ見ラレル。

本例ハ生後 5 箇月ノ女子デアツテ、生後 2 箇月頃ヨリ視力ノ悪イノニ家族ノモノガ氣付イタト云フ。頭蓋ガ著シク大キクテ、腦水腫ト思ハレル。

既往症。出産平易デアツテ、今日マデ熱性疾患ニ罹ツタコトガナク、血液ノワ氏反應、脊髄液ノノンネ氏及ビパンチ氏反應、何レモ陰性デアツテ、頭蓋ノ畸形モ、定型的ト云ヘナイガ、腰椎穿刺ノ結果ハ高壓デアツタ。ソノ外ニ、小兒科的病變ハ見出サレナカッタ。視力ハ大約明暗ヲ辨ズル程度デ、眼底ニハ視神經萎縮ガ見ラレタ。即チ乳頭ハ蒼白、筋板ハ不鮮明デ、乳頭ノ境界モ稍、鮮明ヲ缺イテ居ル。



413. 全色盲 Achromatopsia totalis (明所ニテ).



414. 413.患者 (暗所ニテ).



415. 塔形頭蓋 Pyrgocephalus, 視神經萎縮 Atrophia nervi optici.



416. 腦水腫 Hydrocephalus, 視神經萎縮 Atrophia nervi optici.

**LXXXIII. 下顎眼瞼症狀**

(417, 418, 419, 420.)

LXXXIII. 下顎眼瞼症状

417. 418. 419. 420. 下顎眼瞼症状

本症状ハ Gunn 氏ガ始メテ報告シタ下顎ト上眼瞼トノ異常共働運動デ、先天異常ニヨツテ 一側上眼瞼舉筋ニ行ク動眼神經ノ一部ガ 外翼狀筋神經核カラ出テ 其ノ爲メ 下顎ノ運動ニ際シテ 神經興奮ガ外翼狀筋神經核ニ起ツタ場合ニ 眼瞼ノ舉上ヲ見ルモノデアルト考ヘラレテキル。即チ 本現象ハ 外翼狀筋ノ働ク場合 例ヘバ下顎ヲ健眼ノ側ニ動かストキ、前方ニ出ストキ、及ビ 口ヲ大キク開クトキ等ニ 著明デアル。

本例ハ 22 歳ノ女子、生來右眼瞼ガ下垂シテキルガ、食事等デ口ヲ開キヌハ動カスト、眼瞼下垂ハ消失又ハ反ツテ健側ヨリニ瞼裂ガ廣クナルトイフ。診ルニ 眼球運動ニハ異常ガナク、右上眼瞼ハ 左ニ比シ輕度ニ下垂シテ居ル。所ガ 下顎ヲ左ノ方ニ動かストカ 前方ニ突キ出ストカ 口ヲ大キク開クトカスル場合ニハ、右上眼瞼下垂ハ消失シテ 反ツテ左眼ヨリニ瞼裂ガ廣クナル。然シ カクノ如キ下顎運動ヲ 他動的ニ行フ場合ニハ 本現象ハ起ラナイ。

417. ハ下顎ヲ右ニ動かシタ時。コノ時ニハ 下顎ヲ動かサナイ時ト同様ニ 右眼瞼ハ稍下垂シテキル。

418. ハ下顎ヲ左ニ動かシタ時。コノ時ニハ 右瞼裂ハ開大スル。

419. ハ下顎ヲ前ニ出シタ時。コノ時ニモ 右瞼裂ハ開大ス。

420. ハ口ヲ大キク開イタ時。コノ時ニモ 右瞼裂ハ開大スル。



417. 下顎眼瞼症状 (下顎ヲ右ニ動かシタ時)



418. 下顎眼瞼症状 (下顎ヲ左ニ動かシタ時)



419. 下顎眼瞼症状 (下顎ヲ前ニ動かシタ時)



420. 下顎眼瞼症状 (下顎ヲ下ニ動かシタ時)

**LXXXIV. 共働性斜視**

(421, 422, 423, 424, 425, 426.)

## LXXXIV. 共働性斜視

## 421. 422. 共働性内斜視 Strabismus concomitans convergens. (左)

共働性斜視ハ 眼球運動ニ異常ノ無イ斜視デ、兩眼視機能ヲ缺クモノデアル。麻痺性斜視ト異リ 通常 複視ヲ訴ヘナイ。斜視眼ノ方向ニヨリ 内斜視 外斜視 上斜視 下斜視 等ノ別ガアルガ、内斜視ト外斜視ガ最も多ク、其ノ他ノモノハ稀デアル。

共働性内斜視ハ 通常 内斜位眼ガ 兩眼視機能ヲ失ツタ際ニ起ルモノデ、生後一年以内ニ一眼ノ失明シタ場合トカ スハ 比較遠視等ニ見ラレル。又 生來ノモノモアル。

斜視ノ簡單ナ検査法ハ 受檢者ニ兩眼ヲ以テ眼前約 1/2 メートルニ保持シタ燈火ヲ見サセ、檢者ハ燈火ノ方向カラ受檢者ノ角膜ニ映ジタ燈火ノ像ヲ見テ、左右ヲ比較スル。コノ時 左右ノ角膜反射像ガ對稱ノ位置ニアツテ 交、一眼ノ視線ヲ遮ギルニ 映像ノ位置ニ變化ガ起ラナケレバ 斜視ハ存在シナイ。若シ又 映像ガ左右對稱ノ位置ニナク 且ツ直視シテキル一眼ヲ被フトキ 斜視シテキル他眼ガ運動シテ燈火ヲ直視スル様ナ場合ニハ 斜視ノ存在スルモノデアル。但シ斜視眼ガ失明シタ場合ニハ 此ノ整復運動ハ起ラナイ。尙ホ 假性斜視ノ項 (LXXXV) ヲ参照サレタイ。本例ノ如ク 斜視スル眼ガ 時ニ左右交代スルモノハ 特ニ 交代斜視 (Strabismus alternans) ト謂ハレテ居ル。

治療法ハ 斜視眼ヲ手術 (内直筋ノ後轉法 スハ 外直筋ノ前轉法) ニヨツテ 矯正シテ 兩眼ガ正シク前方ニ向フ様ニスレバヨイ。

本例ハ 17 歳ノ女子デ 421. ハ右眼ヲ注視シタモノ。 422. ハ手術ニヨツテ治療シタモノデアル。

## 423. 424. 共働性外斜視 Strabismus concomitans divergens. (右)

共働性外斜視トハ 眼球運動ニ異常ナク、即チ 眼筋麻痺ナクシテ 一眼ハ直視シ 他眼ハ外斜スルモノデアル。共働性外斜視ハ 通常 外斜位眼ガ 兩眼視機能ヲ失ツタ際ニ、例ハバ 稍ニ生長シタ後ニ一眼ノ視力ガ減退シタ場合、又 高度ノ近視 等ニ起ル。又 生來ノモノモアル。

共働性外斜視ハ 兩眼視機能ガ缺如シテキルト 視野ノ稍、狭イトノ外ハ 視機能ニ著シイ障碍ガナイ。然シ 外貌ガ不良デアル爲ニ 治療ヲ請フ者ガ多イ。

本例ハ 20 歳ノ女子、生來斜視ガアツタ者デ、視力ハ兩眼共良ク、右眼ノ斜視度ハ約 4 耗デアル。

423. ハ手術ノ前デ、右眼ノ外斜シテキルノが見ラレル。

424. ハ手術 (右眼ノ外直筋ノ腱ヲ切ツテ後轉、同時ニ 内直筋ノ腱ノ一部ヲ切除シテ前轉) ニヨリ 斜視ノ治療シタモノデアル。

## 425. 426. 共働性外上斜視 Strabismus concomitans divergens et sursum vergens. (右)

本例ハ 23 歳ノ女子デ、小學時代カラ 輕度ノ斜視ガアツタガ、4-5 年前カラ 次第ニ其ノ度ヲ増シテ來タト云フ。兩眼共 近視ガアツテ、視力ハ 右=0.1 (0.8×-2.0 D)、左=0.1 (1.0×-2.0 D) デアルガ 眼鏡ハ用テ居ナイ。

425. ハ手術前デ、右眼ガ外上方ニ斜視シテキルノが見ラレル。

426. ハ手術後 斜視ノ概ニ治療シタモノデアル。手術ハ 先ヅ右眼ノ外斜視ヲ 424. ノヤウニシテ手術シ、次デ第二回日ニ 上直筋ノ腱ヲ切ツテ 之レヲ後轉シタモノデアル。



421. 共働性内斜視  
Strabismus concomitans convergens. (左)



422. 421. ガ手術ニヨツテ治療シタモノ



423. 共働性外斜視  
Strabismus concomitans divergens. (右)



424. 423. ガ手術ニヨツテ治療シタモノ



425. 共働性外上斜視  
Strabismus concomitans divergens  
et sursum vergens. (右)



426. 425. ガ手術ニヨツテ治療シタモノ

**LXXXV. 假性斜視**

(427, 428, 429, 430, 431, 432.)



## LXXXV. 假性斜視

## 427. ガムマ角ノ小ナルためノ假性内斜視 Pseudostrabismus convergens.

角膜ノ向キト 注視線ノ向キトハ 必ズシモ一致シナイ。即チ 角膜ノ基底ノ中央ニ立テテ垂線ト 眼ノ注視線(注視セラレタ點ト眼ノ回旋點トヲ連テタ線)トノ間ノ角ヲ「ガムマ」角(Angulus  $\gamma$ )ト稱スル。而シテ角膜ノ垂線ガ注視線ヨリモ外方ニアルノカ普通デ。之レヲ(+)ノ符號デ表ハシ。反對ノヲ(-)トスレバ。正視眼ノ角ハ平均5°。遠視眼デハ平均6°。近視眼デハ平均4°ニナツテ居ル。又 屈折異常ニ關係ナクシテ 個人差 2°以上アル事モアル。此ノ時ニハ 一見斜視ノ如キ外觀ヲ呈スルコトガアル。之レヲ假性斜視ト謂フ。

本例ハ 24歳ノ男子デ。右眼ハ -14「チオプリー」。左眼ハ -16「チオプリー」ノ近視デアツテ。「ガムマ」角ハ 右眼ニ於テハ -1°。左眼ニ於テハ -2° デアル。ツレガ爲メ假性内斜視トナツテキル。

## 428. ガムマ角ノ大ナル爲ノ假性外斜視 Pseudostrabismus divergens.

「ガムマ」角ノ異常ニ因ツテ起ツタ假性外斜視ノ場合ニハ 正面ヨリ角膜ニ投ジタ燈火ハ 角膜ノ中央ヨリモ 内方ニ偏シテ映ズルガ。此ノ場合ニハ 一眼ノ視線ヲ遮ギルモ 他眼ノ運動スルコトハナイ。

本例ハ 8歳ノ少女デ。外斜視整形ヲ希望シテ受診シタモノデアルガ。兩眼視ニ障碍ナク。遠視ガアリ。眼位ノ變化ハナイ。「ガムマ」角ハ 約 +8° デアル。

## 429. 角膜ノ皸裂ニ對スル位置異常ニ因ル假性内斜視 Pseudostrabismus convergens.

19歳ノ學生デ。神經衰弱ノため 眼ノ診療ヲ受ケニ來タモノデ。一見 内斜視ノヤウデアルガ。視力ハ 左右共 1.2アリ。「ガムマ」角ハ 右 4°35'。左 4°44' デ。平均値ニ近イガ。眼球ガ皸裂ニ對シテ内側ニ偏シテ居ルため 内斜視ノ外觀ヲ呈シテ居ルモノデアル。

## 430. 角膜ノ皸裂ニ對スル位置異常ニ因ル假性外斜視 Pseudostrabismus divergens.

本例ニ 429.ト同様ノ原因ニヨル 假性外斜視デアル。22歳ノ學生デ。視力ハ 右 0.3(1.2×-2.75D) 左 0.2(1.2×-3.0D) デ。兩眼視機能ニ 健全デアル。「ガムマ」角ニ就テハ 正確ニ測定ハシテナイガ。患者ニ注視セシメタ光ノ角膜反射像ガ 其ノ眼ノ角膜ノ略ニ中央ニ來ル。

左右眼瞼ノ上外方ノ皮膚ヲ 左右(外方)ニ引イテ見ルト 斜視眼ノ外觀ガ消失シテ 健康者ノ如ク 兩眼ガ正シク前方ニ向ツテ見エル。

## 431. ガムマ角及ビ角膜位置ノ異常ニ因ル假性内斜視 Pseudostrabismus convergens.

本例ハ 14歳ノ少女デ。強度近視ノ爲メ「ガムマ」角過小トナリ。且ツ 内眥ニ蒙古裝ガアツテ 角膜ヨリ鼻部ノ鞏膜ノ部分ガ蔽ハレル爲ニ 内斜視ノ觀ヲ呈スル。右視力=0.08(0.4×-10.0D)。左視力=0.07(0.3×-10.0D)。

## 432. ガムマ角及ビ角膜位置ノ異常ニ因ル假性外斜視 Pseudostrabismus divergens.

本例ハ 39歳ノ男子デ。前例ト反對ニ 遠視ガアリ。「ガムマ」角ガ過大トナルト共ニ。角膜ヨリ鼻部ノ鞏膜ノ部分ガ 過廣ニ露ハレテ居ル爲ニ 外斜視ノ觀ヲ呈スルモノデアル。右視力=0.9(矯正不能)。左視力=0.7(1.0×+2.5D)。「ガムマ」角 7°。



427. ガムマ角ノ小ナル爲ノ假性内斜視 Pseudostrabismus convergens.



428. ガムマ角ノ大ナル爲ノ假性外斜視 Pseudostrabismus divergens.



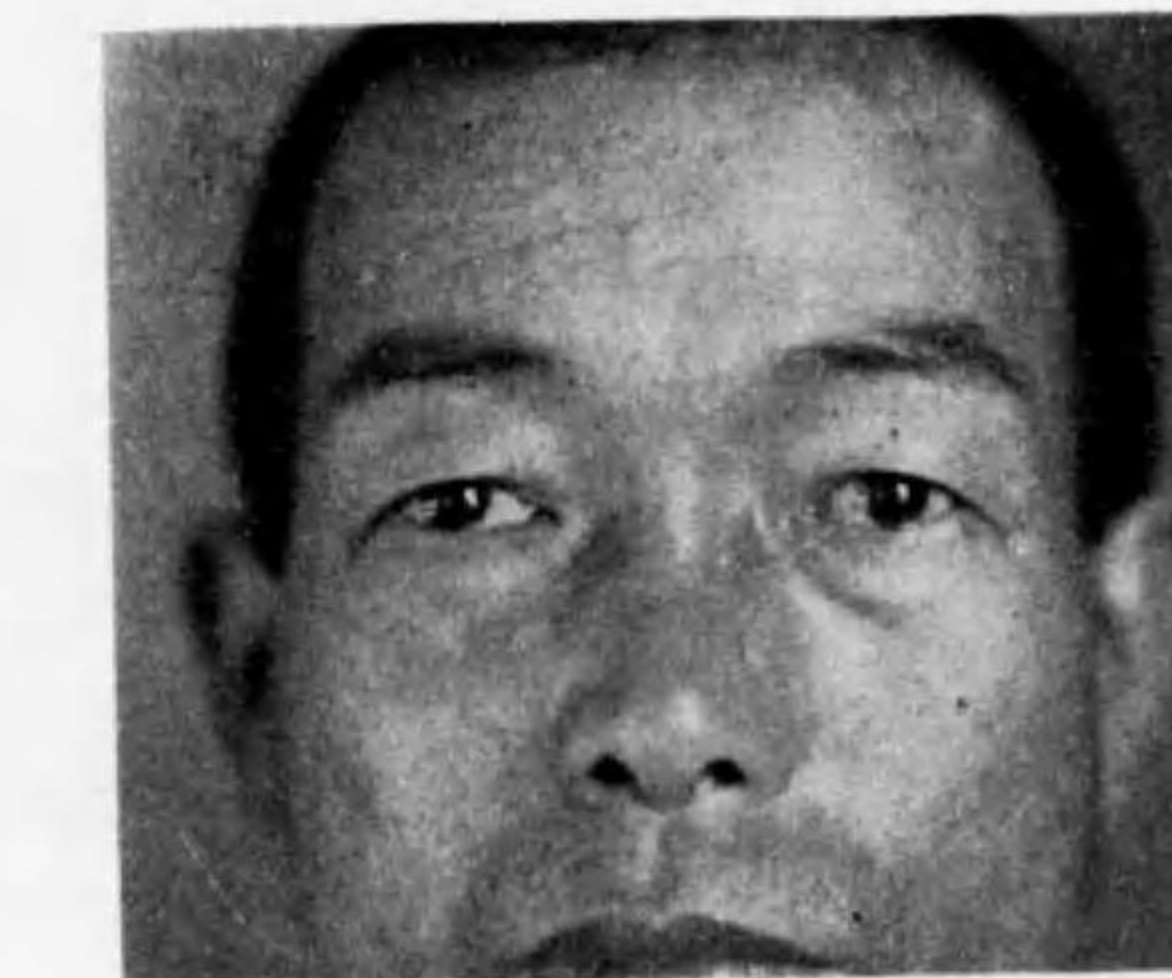
429. 角膜ノ皸裂ニ對スル位置異常ニ因ル假性内斜視 Pseudostrabismus convergens.



430. 角膜ノ皸裂ニ對スル位置異常ニ因ル假性外斜視 Pseudostrabismus divergens.



431. ガムマ角及ビ角膜位置ノ異常ニ因ル假性内斜視 Pseudostrabismus convergens.



432. ガムマ角及ビ角膜位置ノ異常ニ因ル假性外斜視 Pseudostrabismus divergens.

**LXXXVI. 眼筋麻痺**

(433, 434, 435, 436, 437.)

## LXXXVI. 眼筋麻痺

## 433. 434. 435. 外直筋麻痺 Paralysis musculi recti lateralis. (左)

外直筋が麻痺スレバ 眼球ノ外轉ハ 困難又ハ不可能トナリ、眼球ハ 内直筋ノ牽引ニヨツテ 内斜ニル(麻痺性内斜視)。此ノ斜視ハ 視線ヲ麻痺シタ外直筋ノ働クベキ方向ニ向ハシメレバ 其ノ程度ヲ増大シ、反對方向ニ於テハ 減少又ハ消失スル。從ツテ 患者ハ顔ヲ麻痺側ニ向ケ 注視線ヲ麻痺シタ筋ノ働クベキ方向ト反對ノ側ニ向ケ 麻痺性内斜視ニ因ル同側性ノ複視ヲ 出來得ルダケ消失センメヤウト試ミル。

本例ハ 37歳ノ農夫、何等コレトイフ動機ナクシテ 複視ガ起ツタ。正面ヲ見サセルト左眼ハ右眼ニ比シテ 幾分内斜シテキルガ、右方ヲ見サセルト ソノ内斜視ハ殆ド消失スル。今度ハ左方ヲ見サセルト 左眼ハ殆ド全ク外轉ガ不可能デ、著シイ内斜視ノ状態トナル。

ワッセルマン氏反應、ビルケー氏反應共ニ陰性。全身検査ノ結果モ 眼ヲ除イテハ コレトイフ異狀ヲ發見シ得ズ。原因不明デアツタ。

433. ハ正面ヲ見サセタモノ。左眼(患眼)ガ僅カニ内斜シテキルノガ見ラレル。

434. ハ右方ヲ見サセタモノ。斜視ハ殆ンド現ハレナイ。

435. ハ左方ヲ見サセタモノ。斜視ハ著明トナル。同時ニ複視ノ度モ強クナル。

## 436. 437. 内直筋麻痺 Paralysis musculi recti medialis. (左)

内直筋麻痺ノ場合ニハ 外直筋麻痺ノ場合ト反對ニ 眼球ハ外斜シ 交叉性ノ複視ヲ訴ヘル。其ノ麻痺性外斜視又ハ複視ハ 麻痺眼ヲ内轉センメル場合ニ著シクナル。

本例ハ 20歳ノ女子、始メ風邪ノ氣味ガアリ、2日程経テ左耳痛起リ、中耳炎トイハレタ。其ノ後 約一週間経テ 複視ヲ生ジテ來タ。右眼球運動ハ正常、左眼球ノ内轉作用不十分デ、左方ヲ見ルトキニハ 眼位ハ正常デアルガ 右方ヲ見ルトキニハ 左眼球ハ外斜トナリ 交叉性ノ複視ヲ現ハス。瞳孔反應ニ異狀ハナイ。

436. ハ右方ヲ見サセタトキ。斜視並ニ複視ノ度ハ強クナル。

437. ハ左方ヲ見サセタトキ。斜視並ニ複視ハナクナル。



433. 外直筋麻痺  
Paralysis musculi recti lateralis (左).



434. 433. 患者ニ右方ヲ視サセタ時



435. 433. 患者ニ左方ヲ視サセタ時



436. 内直筋麻痺  
Paralysis musculi recti medialis (左).  
(右方ヲ視サセタ時).



437. 436. 患者ニ左方ヲ視サセタ時

**LXXXVII. 眼筋麻痺**

(438, 439, 440, 441.)

LXXXVII. 眼筋麻痺

438. 動眼神經麻痺 Paralysis nervi oculomotorii. (右) (輕度モノ)

動眼神經全麻痺ノ場合ニハ 動眼神經支配下ノ 上直筋 内直筋 下直筋 下斜筋 上臉舉筋 及ヒ内眼筋ハ其ノ機能ヲ失ヒ、只 外直筋ト 上斜筋ノミガ殘ルカラ、眼球ハ外方ニ 且ツ僅ニ下方ニ偏位シ、上眼瞼ハ下垂シ、瞳孔ハ散大シ、瞳孔反應ハ消失シ、調節ハ麻痺スル。

本例ハ 21歳ノ女子、約一年前ヨリ 眼瞼下垂 外斜視 近距離ニ於ケル視力障病ガ起ツテ來タモノデアル。

439. 動眼神經麻痺 Paralysis nervi oculomotorii. (右) (腦底腫瘍ニ因ルモノ)

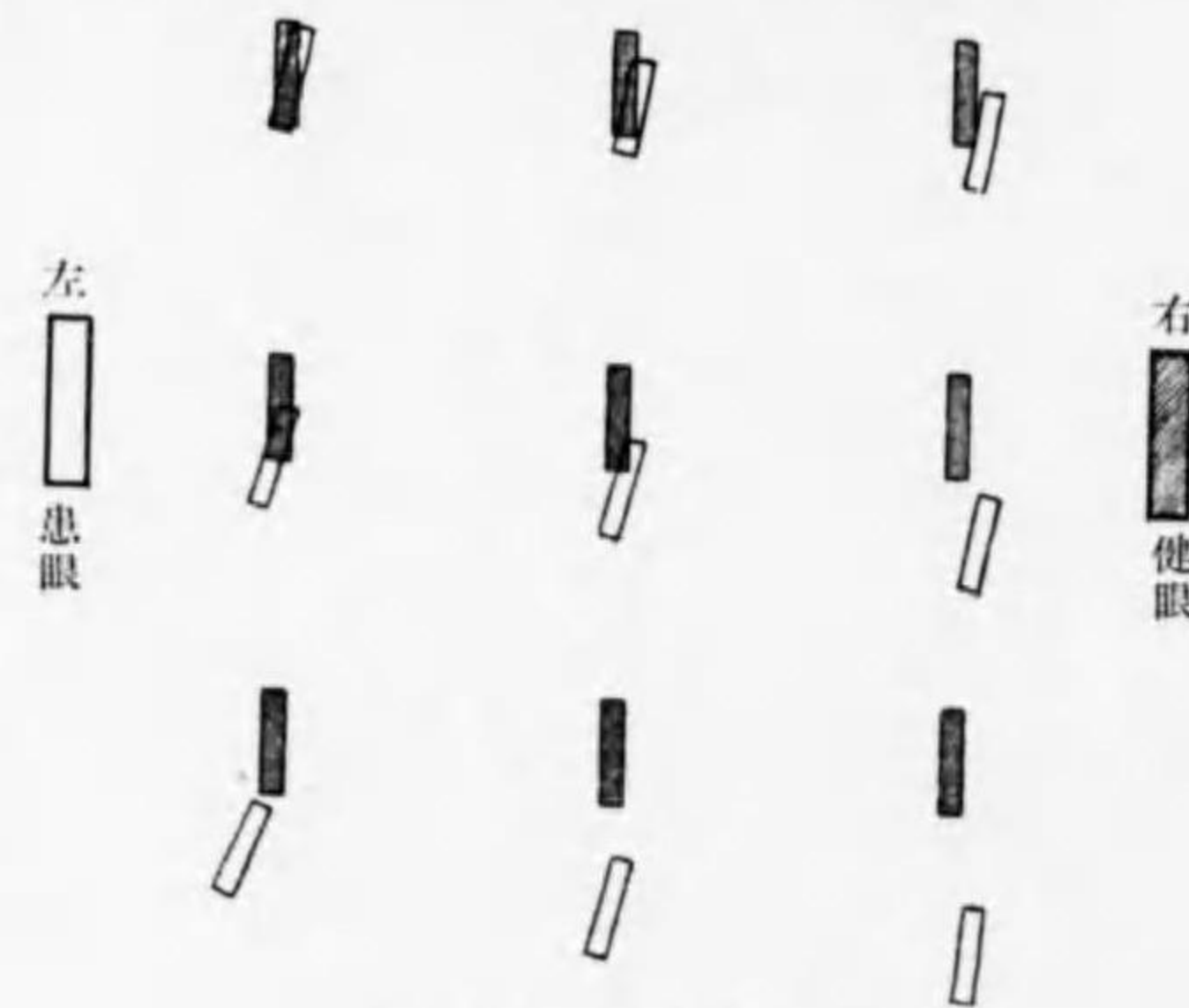
本例ハ 51歳ノ農夫、始メ左頸皮下ニ拇指頭大ノ腫瘍ノアルノニ氣付イダ。ソノ後間モナク 右頸ニモ同様ノ腫瘍ヲ生ジ、ソレ等ガ段々ト増大シテ來テ、約一年後ニハ 嚥下困難ヲ訴ヘル様ニナツタ。ソノ後約4箇月ヲ經テ 右上眼瞼ノ下垂ヲ生ジテ來タ。其ノ當時 視力ヤ眼底等ニハ 格別ノ異常ハ認メナカツタガ、右上眼瞼下垂シ、右眼球運動ハ 上 内 下ノ三方ニ障碍サレ、右動眼神經麻痺デアルコトヲ知ツタ。本患者ハ ソノ後間モナク死亡シ、解剖ノ結果 腦底ニ内被腫ヲ發見シタ。

440. 左上斜筋麻痺 Paralysis musculi obliqui superioris sinistri ノ頭位

眼筋麻痺ノ際ニハ 注視線ヲ麻痺シタ筋ノ働クベキ方向ニ向ケタ場合ニ 複視ガ最モ著シナルカラ、患者ハ出來得ル限リ 此ノ麻痺シタ筋ノ働クベキ方向ト反對ノ方向ニ 注視線ヲ向ケテ 複視ヲ避ケヤウト試ミル。從ツテ 各眼筋麻痺ニ 特有ナ頭位ヲ示スコトガ多イ。

上斜筋ハ 主トシテ内下方ニ働ク筋デアルカラ、此ノ筋ノ麻痺ノ際ニハ 患者ハ 注視線ヲ外上ニ向ケヤウトシ、從ツテ顔ヲ之ト反對方向即チ内下ニ向ケ 且ツ假像ノ傾斜ヲ避ケルタメニ 頭部ヲ健側ノ肩ニ向ツテ傾ケル。

本患者ハ 32歳ノ男子、始メ風邪ノ氣味ガアリ、ソレヨリ 3日程經テ 複視ガ起ツタ。複像検査ノ結果ハ 左上斜筋麻痺デアル (第40圖參照)。患者ハ圖ニ見ル如クニ 顔ヲ右側ニ廻シ 右肩ニ向ツテ頭ヲ傾ケ 上目ヲ物體ヲ見テキル。此ノ位置ニ於テ 複視ガ殆ドナイトイフ。



第40圖 440.患者ノ複像



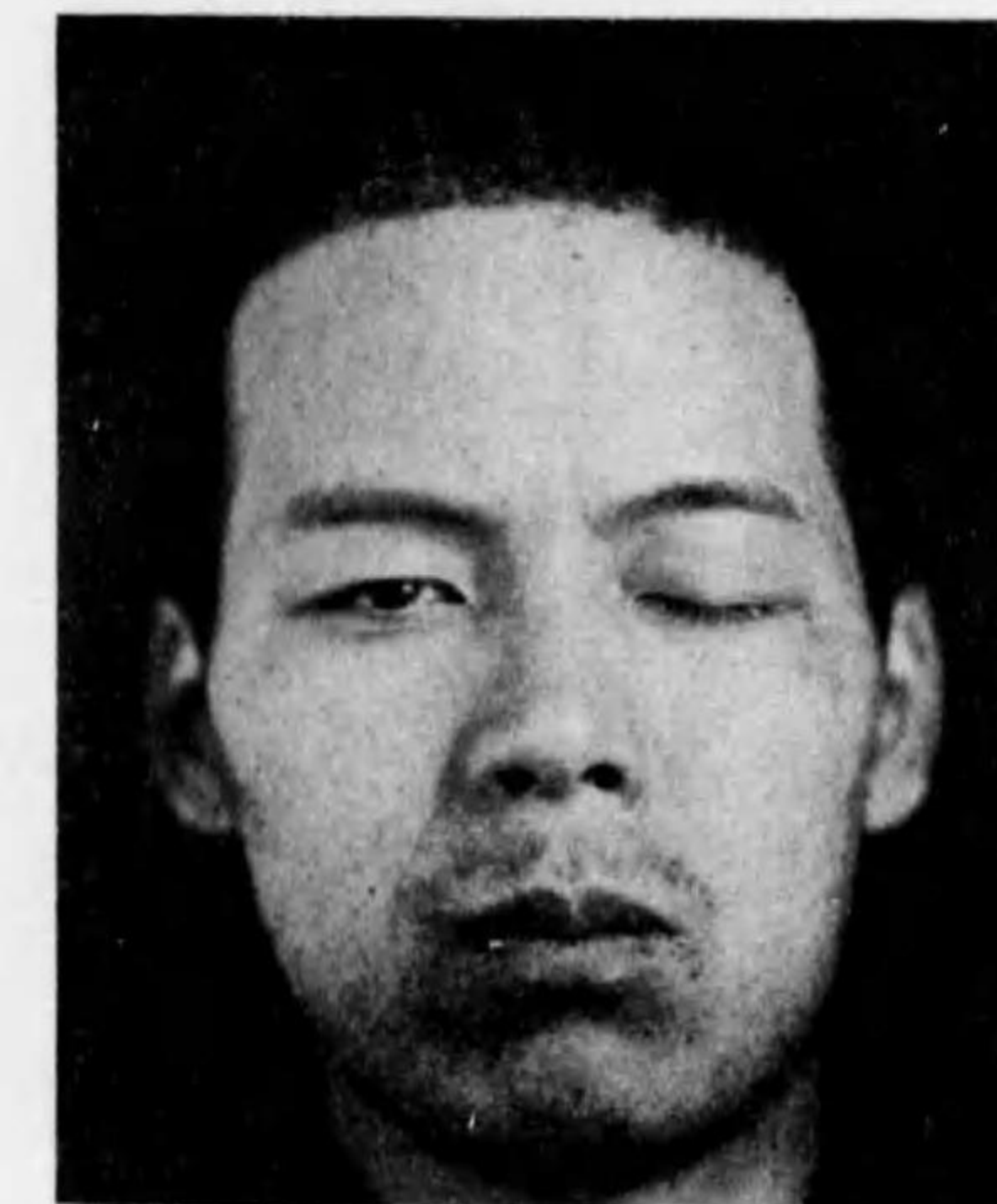
438. 動眼神經麻痺  
Paralysis nervi oculomotorii. (右)  
(輕度モノ)



439. 動眼神經麻痺  
Palalysis nervi oculomotorii. (右)  
(腦底腫瘍ニ因ルモノ)



440. 左上斜筋麻痺  
Paralysis musculi obliqui superioris  
sinistri ノ頭位



441. 全外眼筋麻痺  
Ophthalmoplegia externa totalis. (左)  
(副鼻腔炎ニ因ルモノ)

441. 全外眼筋麻痺 Ophthalmoplegia externa totalis. (左) (副鼻腔炎ニ因ルモノ)

瞳孔及ビ調節ニ異常ナクシテ全外眼筋ノ侵サレル場合ヲ 全外眼筋麻痺トイフ。兩眼ノコトモアリ マタ 偏眼ノコトモアル。兩眼ノ場合ハ 核ノ部ノ變化ニヨルモノデアツテ、中心性腦灰白質炎 Polioencephalitis haemorrhagica superior 等ノ場合ニ來ル。偏眼ノ場合ハ 上眼瞼破裂附近ニ於ケル病變ニ因ルモノデアツテ、コノ際 動眼神經幹中ヲ走ル内眼筋ヘノ纖維ハ 特ニ抵抗ガ強クテ 侵サレナカツタモノト考ヘラレル。

本例ハ 21 歳ノ男子、左偏頭痛ガアツテ 左眼ノ急劇ナ視力低下ヲ來シ、同時ニ 上眼瞼下垂ヲ來シタモノデアル。診ルニ 右眼ハ正常デアルガ、左上眼瞼ハ 全ク下垂シ、眼球ハ 各方向ニ殆ド動カナイ。左眼ノ視力ハ零デ、從ツテ瞳孔ノ直接對光反應ハナイガ 間接對光反應及ビ輻轉反應ニハ異常ガナイ。即チ内眼筋ハ正常デアル。眼底ハ輕度ノ鬱血乳頭ヲ示シ 鼻科的診察ノ結果 輕度ノ副鼻腔炎ノ存在ガ確メラレタ。ヨツテ副鼻腔炎ニ對スル治療ヲ續ケタトコロ 約 1 箇月ヲ經テ 眼瞼下垂ヤ眼球運動障碍ハ 殆ド全ク消失シ、視力モ 0.03 迄回復シタ。

**LXXXVIII. 末端肥大(大腦下垂體腫瘍)**

(442, 443, 444.)

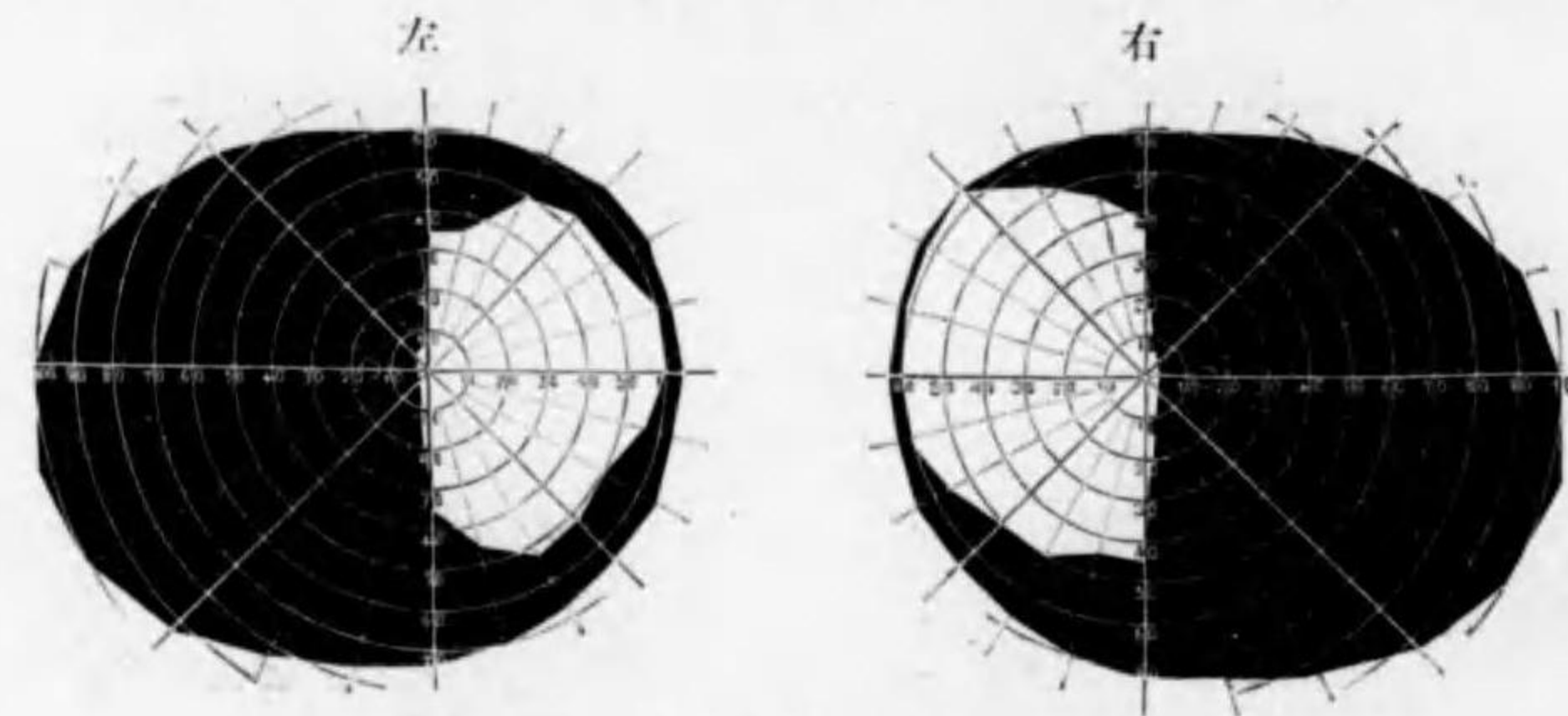
LXXXVIII. 末端肥大(大脳下垂體腫瘍)

442. 443. 444. 末端肥大 Acromegalia.

大脳下垂體ノ腫瘍ノタメ 大脳下垂體前葉ノ機能亢進スル時ハ 末端肥大ヲ起ス。此ノ時ニハ 腫瘍ハ視神經交叉部ノ中央ヲ壓迫シテ 自覺的ニハ 兩耳側半盲、又 眼底變化トシテハ 視神經萎縮ガ起ル。

豫後。不良。

本例ハ 32歳ノ農夫。父母並ニ兄弟8人健在。患者ハ生來健康デ、徴兵検査ハ甲種合格デアツタ。約3年前 右眼ノ耳側半面ノ見えナイコトニ氣付イタ。醫師ニハ 視神經カ悪イト謂ハレタ。其ノ後一年ヲ經テ 頭痛ガ起ル。約半年前 眼科醫ヲ訪レ、左側ノ半盲ヲ發見サレタ。最近ニ至リ 頭痛甚シク 仕



第 41 圖 末端肥大患者ノ視野

事モ出来ナクナツタト云フ。初診當時ノ視力ハ 右 0.04, 左 0.09 共ニ矯正不能デ。圖ノ様ナ兩耳側半盲ガアツタ(第41圖)。眼底ハ 乳頭ガ兩眼共ニ褪色シテ 視神經萎縮ノ像ヲ呈シテ居タ。頭蓋「レントゲン」線寫眞ニヨレバ「トルコ」鞍ノ骨壁ガ破壊サレテ居ルコトが見ラレルノデ、上述眼科の所見ト併セ考ヘテ 大脳下垂體腫瘍ノ診斷ヲ下シタ。

患者ノ手

健康者ノ手



第 42 圖 末端肥大患者ノ手(左)ト 健康者ノ手(右)トヲ比較シタモノ。



442. 443.患者ノ頭部レントゲン線寫眞 (トルコ鞍部破壊)



443. 末端肥大 Acromegalia, 兩耳側半盲 Hemianopsia bitemporalis.



444. 443.患者ノ背面



治療法トシテハ「レントゲン」深部治療ヲ約3箇月ニ亘ツテ前後6回行ツタガ、視力モ次第ニ衰ヘ、3  
箇月後ニハ右0.01、左0.02（共ニ矯正不能）トナリ、視野眼底共ニ恢復ノ微ガ見ラレナカッタ。  
442.ハ患者ノ頭部「レントゲン」線寫眞デ、「トルコ」鞍部ノ破壊サレテキルノガ見ラレル。  
443.ハ患者ヲ前面カラ撮影シタモノ。指及ビ趾ノ末端ガ稍、肥大シテキルノガ見ラレル（第42圖）。  
444.ハ患者ヲ背面カラ撮影シタモノデアル。

**LXXXIX. 脂肪生殖器變性(大腦下垂體腫瘍)**

(445, 446, 447.)

LXXXIX. 脂肪生殖器變性(大脳下垂體腫瘍)

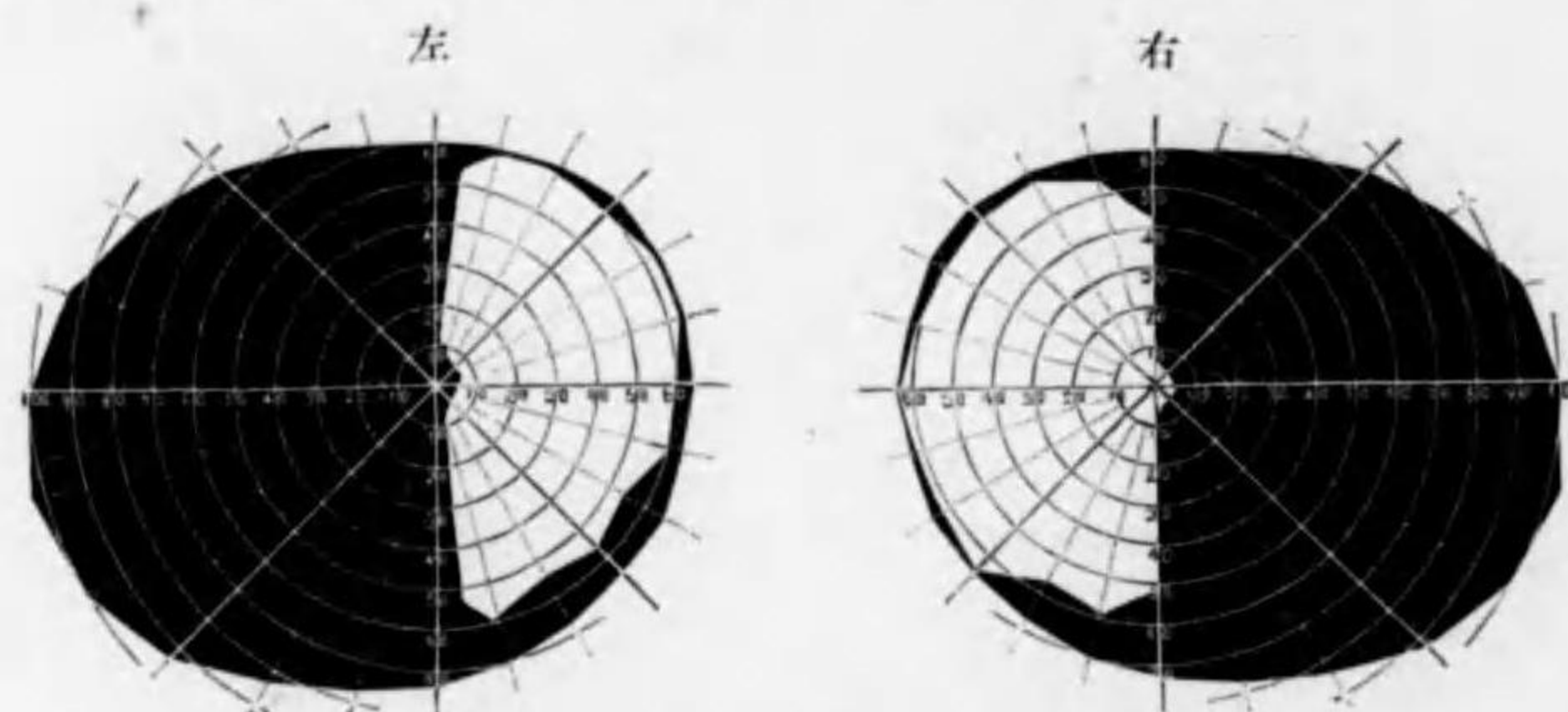
445. 446. 447. 脂肪生殖器變性 Dystrophia adiposogenitalis.

之レハ末端肥大ト共ニ 大脳下垂體腫瘍ニヨル疾患デアルガ、前者ト異リ 大脳下垂體中葉ノ機能減降セルタメニ起ル病變デアル。

全身的ニハ 全身ノ脂肪肥大ト 生殖機能ノ障碍デ、眼ノ變化ハ 兩耳側半盲ト 視神經萎縮トデア  
ル。「レントゲン」線寫眞ニヨリ「トルコ」鞍ノ變化ヲ見ル。

本例ハ 23歳ノ婦人デ、同胞ハ姉一人デ健在、生來健康デ 著患ナク、20歳ノ時 結婚シ、21歳デ  
女兒ヲ産ム。産後一箇月デ 月經始リ、以來毎月之レヲ見タガ 約1箇年午前カラ 月經閉止シテ現在  
ニ至ル。約1箇年前カラ 次第ニ肥滿シ、同時ニ 兩眼ノ視力障碍ガ起ツタ。

初診當時、視力ハ 右 0.5, 左 30種指數(共ニ矯正不能)デ、兩耳側半盲ガアリ、左眼底ニハ 單  
性視神經萎縮ガアツタ。右眼底ニハ 變化ハ見ラレナカツタ。



第 43 圖 脂肪生殖器變性患者ノ視野

尿ニハ 蛋白 糖 共ニ無ク、血液ワ氏反應ハ陰性、ビルケー氏反應ハ陽性デアツタ。

「レントゲン」寫眞ニヨツテ「トルコ」鞍ノ擴大ガ見ラレル。

視野ハ 第 43 圖ノ如ク兩耳側半盲ヲ呈シ、右眼ハ黃斑部迴避ノタメ 中心視力 0.5デアルガ、左眼  
ハ 黃斑部ニ侵サレテ居ルタメ 中心視力ガ 30種指數ニ低下シテ居ル。

445.ハ患者ノ頭部「レントゲン」線寫眞デ、「トルコ」鞍部ノ擴張シテキルノガ見ラレル。

446.ハ患者ヲ前面カラ寫シタモノデ、脂肪過多様ニ肥滿シテキルノガ見ラレル。

447.ハ患者ヲ背面カラ寫シタモノデアル。



445. 446.患者ノ頭部レントゲン線寫眞  
(トルコ鞍部擴張)



446. 脂肪生殖器變性  
Dystrophia adiposogenitalis,  
兩耳側半盲 Hemianopsia bitemporalis.

447. 446.患者ノ背面

## 索引

1. 邦語ノ讀ミ方ハ大體ニ於テ日本式ローマ字法ニ從テ綴ツタ。長イ綴リノ場合ニ一ヲ挿入シタノハ判讀ニ便ナル爲メデアル。
2. 日本式ローマ字法デ表ハス場合ニ從來ノヘボン式ローマ字綴リト異ナル點ハ次ノ通りデアル。

	日本式	ヘボン式		日本式	ヘボン式
シ	si	shi	ジ	zi	ji
チ	ti	chi	シャ	sya	sha
ツ	tu	tsu	チャ	tya	cha
フ	hu	fu	ジャ	zya	ja

ハネル音ハ凡テ n ヲ用ヒ。ツマル音ニハ次ニ來ル文字ヲ重ネ。長音ハ母音ノ上ニハ ヲ附シ。母音ヲ單獨ニ發音スル場合又ハ oh ノ間ニハ ' ヲ入レタ。

(例ヘバ纖維 sen'i 轉移 ten'i, 陷凹 kan'ô ノ如シ)

3. 邦語ノ讀ミ方ヲローマ字デ表ハス場合發音ノ習慣ニ從テ次ノ様ニシタ。  
(例ヘバ水ヲ mizu, 軸ヲ ziku, 管ヲ kan, 化ヲ ka ノ如シ)
4. ゴヂツク字體デ印刷シタノハ外國語デアル。

### A

Abscessus corneae anularis . . . . .	XLVI 235
Achromatopsia totalis . . . . .	LXXXII 413, 414
Acromegalia . . . . .	LXXXVIII 442, 443, 444
Aniridia congenita . . . . .	LVII 295
Arachnodaktylie . . . . .	LXXII 370
Arcus juvenilis . . . . .	L 253
Arcus senilis . . . . .	L 252
Argyrosis corneae . . . . .	XLIX 247, 248
Arteria hyaloidea persistens physiologica . . . . .	LXV 335
Atrophia bulbi . . . . .	LXXIV 382
Atrophia iridis progressiva essentialis . . . . .	LXIII 331
Atrophia nervi optici . . . . .	LXXXII 415, 416

### B

Baidokusei-bimansei-kôsai-môyôtaien 微毒性 瀰蔓性虹彩毛様體炎 . . . . .	LX 312
Baidokusei-kyûsinsei-kôsaien 微毒性丘疹性虹 彩炎 . . . . .	LX 313, 314
Basedow-si-byô バセドウ氏病 . . . . .	LXXVIII 398
Bimansei-hyôsô-kakumakuen 瀰蔓性表層角膜 炎 . . . . .	XLI 203, 204
Bimansei-kakumaku-zissituen 瀰蔓性角膜實 質炎 . . . . .	XLIV 219, 220, 221
Bôryû-kôsai 膨隆虹彩 . . . . .	LXIII 329
Bôsuisaihô-nikusyu 紡錘細胞肉腫 . . . . .	LXXVII 395
Bôsuisyô-hakunaisyô 紡錘狀白内障 . . . . .	LXVI 343
Budômaku-gaihan 葡萄膜外反 . . . . .	LVIII 302
Buphthalmus . . . . .	LXXIII 375

### C

Cancroid . . . . .	LII 266, 267
Carcinoma corneae . . . . .	LII 268
Cataracta . . . . .	LVIII 303

Cataracta axialis anterior embryonalis . . . . .	LXVI 340
Cataracta centralis . . . . .	LXVII 346, 347
Cataracta diabetica . . . . .	LXIX 355, 356, 357, 358
Cataracta dilacerata . . . . .	LXV 337
Cataracta electrica . . . . .	LXX 362, 363
Cataracta fusiformis . . . . .	LXVI 343
Cataracta immatura . . . . .	LXVIII 353
Cataracta incipiens . . . . .	LXVIII 350, 351, 352
Cataracta juvenilis . . . . .	LXXI 364, 365
Cataracta matura . . . . .	LXVIII 354
Cataracta punctata . . . . .	LXVII 348, 349
Cataracta punctata congenita . . . . .	LXV 336
Cataracta pyramidalis . . . . .	LXVI 342
Cataracta secundaria . . . . .	LXXII 368, 369
Cataracta spuria . . . . .	LXV 338, LXXII 372
Cataracta suturalis congenita . . . . .	LXVI 341
Cataracta traumatica . . . . .	LXII 321, 322, LXX 359, 360
Cataracta zonularis . . . . .	LXVI 343, LXVII 344, 345
Cellulitis orbitalis serosa . . . . .	LXXV 385
Ceratactasia . . . . .	LI 259
Ceratactasia e panno . . . . .	XLVII 238
Ceratitidis bullosa . . . . .	XLIII 215
Ceratitidis dendritica . . . . .	XLII 212
Ceratitidis disciformis . . . . .	XLIII 216
Ceratitidis e lagophthalmo . . . . .	XLII 209
Ceratitidis filamentosa . . . . .	XLIII 218
Ceratitidis leprosa . . . . .	XLV 229
Ceratitidis neuroparalytica . . . . .	XLII 210
Ceratitidis parenchymatosa diffusa . . . . .	XLIV 219, 220, 221
Ceratitidis parenchymatosa e lue aquisita . . . . .	XLIV 222
Ceratitidis parenchymatosa tuberculosa . . . . .	XLIV 223, 224, XLV 228
Ceratitidis phlyctenulosa . . . . .	XLV 225
Ceratitidis profunda . . . . .	XLIII 217

**Ceratitidis sclerotica** . . . . . XLV 226, LX 282  
**Ceratitidis striata** . . . . . XLII 211  
**Ceratitidis superficialis diffusa** . . . . . XLI 203, 204  
**Ceratitidis superficialis punctata** . . . . . XLI 207, 208  
**Ceratitidis vesiculosa** . . . . . XLIII 214  
**Ceratocele** . . . . . XLVII 239  
**Ceratoconus** . . . . . XL 200  
**Ceratomalacia** . . . . . XLVI 236  
**Chalcosis corneae** . . . . . XLIX 250, 251  
**Chloroma** . . . . . LXXXVII 397  
**Coloboma iridis** . . . . . LXVI 343  
**Coloboma iridis congenitum** . . . . . LVII 292, 294, LXV 338  
**Coloboma iridis pontiforme** . . . . . LVII 293  
**Coloboma iridis superficiale** . . . . . LVII 296  
**Coloboma palpebrae congenitum** . . . . . XLII 209  
**Combustio corneae** . . . . . LIII 270  
**Corectopia** . . . . . LII 264, LVIII 298  
**Cornea normalis** . . . . . XL 198  
**Corpus alienum corneae** . . . . . LIII 274  
**Corrodo corneae** . . . . . LIII 271

D

**Dai-kakumaku** 大角膜 . . . . . XL 201  
**Dai-suihōsei-kakumakuen** 大水疱性角膜炎 . . . . . XLIII 215  
**Degeneratio corneae adiposa** . . . . . L 254  
**Degeneratio corneae familiaris** . . . . . LI 258, 259, 260, 261  
**Degeneratio corneae hyalina** . . . . . L 255  
**Denkisei-hakunaisyō** 電気性白内障 LXX 362, 363  
**Descemetocoele** . . . . . XLVII 239  
**Descemet-si-maku-bōtyō** デスマ氏膜膨脹 . . . . . XLVII 239  
**Dōgansinkei-mahi** 動眼神経麻痺 . . . . . LXXXVII 438, 439  
**Dōkō-heisa** 瞳孔閉鎖 . . . . . LXXIII 375  
**Dōkō-hen'i** 瞳孔偏位 . . . . . LII 264, LVIII 298  
**Dōkōmaku-izan** 瞳孔膜遺殘 . . . . . LVI 289, 290, LXVI 343  
**Dystrophia adiposogenitalis** . . . . . LXXXIX 445, 446, 447

E

**Ectopia lentis** . . . . . LXV 339  
**Ectropium uveae** . . . . . LVIII 302  
**Enbanzyō-kakumakuen** 圓板状角膜炎 XLIII 216  
**Enkeisaihō-nikusyu** 圓形細胞肉腫 . . . . . LXXXVII 394  
**Enophthalmus traumaticus** . . . . . LXXX 405  
**Ensan-ni-yoru-kakumaku-husyoku** 鹽酸ニヨル角膜腐蝕 . . . . . LIII 271  
**Ensei-gisyuyō** 炎性偽腫瘍 . . . . . LXXV 389  
**Ensuikakumaku** 圓錐角膜 . . . . . XL 200  
**Ensuizyō-hakunaisyō** 圓錐状白内障 . . . . . LXVI 342

**Exfoliatio superficialis capsulae lentis anterioris** . . . . . LXXII 373  
**Exophthalmus intermittens** . . . . . LXXVIII 400, 401  
**Exophthalmus pulsans** . . . . . LXXVIII 399

F

**Fibroma orbitae** . . . . . LXXXVI 391  
**Flocculus iridis** . . . . . LVIII 303

G

**Gaisyōsei-gankyū-dakkyū** 外傷性眼球脱臼 . . . . . LXXIV 381  
**Gaisyōsei-gankyū-kanbotu** 外傷性眼球陥没 . . . . . LXXX 405  
**Gaisyōsei-hakunaisyō** 外傷性白内障 . . . . . LXII 321, 322, LXX 359, 360  
**Gaisyōsei-kanōsei-kōsai-mōyōtaien** 外傷性化膿性虹彩毛様體炎 . . . . . LXI 317  
**Gaityokkin-mahi** 外直筋麻痺 . . . . . LXXXVI 433, 434, 435  
**Gamma-kaku-no-dai-naru-tame-no-kasei-gaisyasi** ガムマ角ノ大ナルタメノ假性外斜視 . . . . . LXXXV 428  
**Ganka-gomusyu** 眼高ゴム腫 . . . . . LXXV 387  
**Ganka-kekkan-syu** 眼高血管腫 . . . . . LXXVI 390  
**Ganka-nai-syukketu** 眼窩内出血 . . . . . LXXVI 393  
**Ganka-sen'isyu** 眼窩纖維腫 . . . . . LXXVI 391  
**Gankyu-isyuku** 眼球萎縮 . . . . . LXXIV 382  
**Gankyū-tessei** 眼球鐵錆 . . . . . LXIII 327  
**Genpatu-sinkōsei-kōsai-isyuku** 原發進行性虹彩萎縮 . . . . . LXIII 331  
**Gikōsyu** 偽膠腫 . . . . . LXXIII 377  
**Gikyōsyu** 偽膠腫 . . . . . LXXIII 377  
**Glaucoma inflammatorium acutum** LXXIII 374  
**Glioma retinae** . . . . . LXXIII 376, 378  
**Gumma orbitae** . . . . . LXXV 387  
**Gumma sclerae** . . . . . LV 284  
**Gyūgan** 牛眼 . . . . . LXXIII 375

H

**Haemangioma orbitae** . . . . . LXXXVI 390  
**Haemorrhagia corneae** . . . . . LIII 269  
**Haemorrhagia iridis** . . . . . LXII 323, 324  
**Haemorrhagia lentis** . . . . . LXII 321  
**Haemorrhagia orbitae** . . . . . LXXVI 393  
**Hakudō-gankyū-tossyutu** 搏動眼球突出 . . . . . LXXVIII 399  
**Hakunaisyō** 白内障 . . . . . LVIII 303  
**Hakuzi-kōsai** 白兒虹彩 . . . . . LVI 288  
**Herpes zoster corneae** . . . . . XLII 213  
**Heterochromia iridis** . . . . . LVI 291  
**Hidari-zyōsyākin-mahi-no-tōi** 左上斜筋麻痺ノ頭位 . . . . . LXXXVII 440

**Hukukō-sei-kakumaku-kaiyō** 匍行性角膜潰瘍 . . . . . XLVI 233, 234  
**Hukubikū-yori-hassei-sita-gansyu** 副鼻腔ヨリ發生シタ癌腫 . . . . . LXXXVII 396  
**Hydrocephalus** . . . . . LXXXII 416  
**Hyōsō-kōsai-kesson** 表層虹彩缺損 . . . . . LVII 296

I

**Infantilismus pluriglandularis** . . . . . LXXI 366, 367  
**Iridocyclitis diffusa syphilitica** . . . . . LX 312  
**Iridocyclitis suppurativa traumatica** . . . . . LXI 317  
**Iridocyclitis tuberculosa** . . . . . LIX 308, 309  
**Iridodialysis** . . . . . LXII 322  
**Iris albinotica** . . . . . LVI 288  
**Iris-cyste** . . . . . LXII 325  
**Iris gibbera** . . . . . LXIII 329  
**Iris normalis** . . . . . LVI 286, 287  
**Iritis e lue congenita** . . . . . LX 310, 311  
**Iritis gemmosa** . . . . . LX 315  
**Iritis leprosa** . . . . . LXI 316  
**Iritis papulosa syphilitica** . . . . . LX 313, 314  
**Iritis recidivans cum hypopyon** . . . . . LIX 304  
**Iritis tuberculosa** . . . . . LIX 305, 306, 307

K

**Kagaku-ganken-syōzyō** 下顎眼險症狀 . . . . . LXXXIII 417, 418, 419, 420  
**Kakumaku-budōsyu** 角膜葡萄腫 . . . . . XLVII 242, XLVIII 245, 246  
**Kakumaku-dō-tintyaku** 角膜銅沈着 . . . . . XLIX 250, 251  
**Kakumaku-gansyu** 角膜癌腫 . . . . . LII 268  
**Kakumaku-ginbyō** 角膜銀病 . . . . . XLIX 247, 248  
**Kakumaku-hakuhan** 角膜白斑 . . . . . XLVIII 243, 244  
**Kakumaku-haretu** 角膜破裂 . . . . . LIII 273  
**Kakumaku-hiyōsyu** 角膜皮様腫 . . . . . LII 264  
**Kakumaku-hurikuten** 角膜フリクテン . . . . . XLV 225  
**Kakumaku-ibutu** 角膜異物 . . . . . LIII 274  
**Kakumaku-kekaku** 角膜結核 . . . . . XLV 227  
**Kakumaku-namari-kondaku** 角膜鉛濁 . . . . . XLIX 249  
**Kakumaku-nanka** 角膜軟化 . . . . . XLVI 236  
**Kakumaku-nessyō** 角膜熱傷 . . . . . LIII 270  
**Kakumaku-raisyu** 角膜癰腫 . . . . . XLV 230  
**Kakumaku-rinzyō-nōyō** 角膜輪狀膿瘍 XLVI 235  
**Kakumaku-ruigan** 角膜類癌 . . . . . LII 266, 267  
**Kakumaku-sibō-hensei** 角膜脂肪變性 . . . . . L 254  
**Kakumaku-syōsiyō-hensei** 角膜硝子様變性 L 255  
**Kakumaku-syukketu** 角膜出血 . . . . . LIII 269  
**Kakumaku-taizyō-herupesu** 角膜帶狀ヘルペス . . . . . XLII 213  
**Kakumakuzyō-no-kōyō-karyū** 角膜上ノ膠様顆粒 . . . . . LII 265  
**Kakumakuzyō-no-kyōyō-karyū** 角膜上ノ膠様

顆粒 . . . . . LII 265  
**Kanketu-gankyū-tossyutu** 間歇眼球突出 . . . . . LXXVIII 400, 401  
**Kanōsei-ganka-hōkasikien** 化膿性眼高蜂巢織炎 . . . . . LXXV 386  
**Kasei-gaisyasi** 假性外斜視 LXXXV 428, 430, 432  
**Kasei-hakunaisyō** 假性白内障 . . . . . LXV 338, LXXII 372  
**Kasei-naisyasi** 假性内斜視 LXXXV 427, 429, 431  
**Kataru-sei-kakumaku-kaiyō** カタル性角膜潰瘍 . . . . . XLVI 231  
**Kazokusei-kakumaku-hensei** 家族性角膜變性 . . . . . LI 258, 260, 261  
**Kazokusei-kakumaku-hensei-kanzya-no-sikotu-rentogensen-syasin** 家族性角膜變性患者ノ趾骨レントゲン線寫眞 . . . . . LI 262  
**Kazokusei-kakumaku-hensei-ni-yoru-kakumaku-kakutyō** 家族性角膜變性ニヨル角膜擴張 . . . . . LI 259  
**Kekkakusei-ganka-kotumakuen** 結核性眼高骨膜炎 . . . . . LXXV 388  
**Kekkakusei-kakumaku-zissituen** 結核性角膜實質炎 . . . . . XLIV 223, 224, XLV 228  
**Kekkakusei-kōsaien** 結核性虹彩炎 . . . . . LIX 305, 306, 307  
**Kekkakusei-kōsai-mōyō-taien** 結核性虹彩毛様體炎 . . . . . LIX 308, 309  
**Kenzyō-kōsai** 健常虹彩 . . . . . LVI 286, 287  
**Kenzyō-suisyōtai** 健常水晶體 . . . . . LXIV 332, 333, 334  
**Kessetuzyō-kakumaku-kondaku** 結節状角膜濁 . . . . . L 257  
**Kōdo-no-senten-kōsai-kesson** 高度ノ先天虹彩缺損 . . . . . LVII 294  
**Kōhatu-hakunaisyō** 後發白内障 LXXII 368, 369  
**Kōkasei-kakumakuen** 硬化性角膜炎 . . . . . XLV 226, LV 282  
**Kōsai-dassyutu** 虹彩脱出 . . . . . XLVII 240, LXII 326  
**Kōsai-gomusyu** 虹彩ゴム腫 . . . . . LX 315  
**Kōsai-hurokkurusu** 虹彩フェツクルス . . . . . LVIII 303  
**Kōsai-isyoku** 虹彩異色 . . . . . LVI 291  
**Kōsai-kekkan-sinsei** 虹彩血管新生 . . . . . LXIII 330  
**Kōsai-kesson** 虹彩缺損 . . . . . LXVI 343  
**Kōsai-kō-yutyaku** 虹彩後癒着 . . . . . LXIII 328  
**Kōsai-meranōzisu** 虹彩メラノジス . . . . . LVIII 301  
**Kōsai-nōsyu** 虹彩囊腫 . . . . . LXII 325  
**Kōsai-ridan** 虹彩離斷 . . . . . LXII 322  
**Kōsai-rinzyō-kō-yutyaku** 虹彩輪狀後癒着 . . . . . LXIII 329  
**Kōsai-senko** 虹彩穿孔 . . . . . LXII 321  
**Kōsai-syukketu** 虹彩出血 . . . . . LXII 323, 324  
**Kōten-baidokusei-kakumaku-zissituen** 後天微毒性角膜實質炎 . . . . . XLIV 222  
**Kotyōkotutō-oyobi-sikotu-hōka-nen'ekitikuseki** 蠟燭骨質及ビ節骨蜂巢粘液蓄積 . . . . . LXXXIX 404

Kyôdo-no-ensi-ni-yoru-kasei-gankyû-kanbotu 強度ノ遠視=因ル假性眼球陷没 . . . . . LXXXI 411, 412  
 Kyôdo-no-kinsi-ni-yoru-kasei-gankyû-tossyutu 強度ノ近視=因ル假性眼球突出 . . . . . LXXXI 409, 410  
 Kyôdôsei-gaisyasi 共働性外斜視 . . . . . LXXXIV 423, 424  
 Kyôdôsei-gai-zyô-syasi 共働性外上斜視 . . . . . LXXXIV 425, 426  
 Kyôdôsei-naisyasi 共働性内斜視 . . . . . LXXXIV 421, 422  
 Kyômaku-budôsyu 鞏膜葡萄腫 . . . . . LIV 277  
 Kyômakuen 鞏膜炎 . . . . . LV 282  
 Kyômaku-gomtisyu 鞏膜ゴム腫 . . . . . LV 284  
 Kyômaku-haretu 鞏膜破裂 . . . . . LIV 278, 279  
 Kyômaku-kekkaaku 鞏膜結核 . . . . . LV 283  
 Kyômaku-meranôzisu 鞏膜メラノーシス . . . . . LIV 276  
 Kyômaku-rai 鞏膜癩 . . . . . LV 285  
 Kyôzyô-kôsai-kesson 橋狀虹彩缺損 . . . . . LVII 293  
 Kyûsei-ensei-ryokunaisyô 急性炎性緑内障 . . . . . LXXIII 374

L

**Lens crystallina normalis** . . . . . LXIV 332, 333, 334  
**Lepra sclerae** . . . . . LV 285  
**Leproma corneae** . . . . . XLV 230  
**Leucoma adhaerens** . . . . . XLVII 241  
**Leucoma corneae** . . . . . XLVIII 243, 244  
**Luxatio bulbi traumatica** . . . . . LXXIV 381  
**Luxatio lentis** . . . . . LXXII 370  
**Luxatio lentis in camera anteriore** . . . . . LXXII 371

M

Mahisei-kakumakuen 麻痺性角膜炎 . . . . . XLII 210  
 Mattan-hidai 末端肥大 LXXXVIII 442, 443, 444  
**Megalocornea** . . . . . XL 201  
**Melanosarcoma chorioideae** . . . . . LXXIII 379  
**Melanosis iridis** . . . . . LVIII 301  
**Melanosis sclerae** . . . . . LIV 276  
**Membrana pupillaris persistens** . . . . . LVI 289, 290, LXVI 343  
**Microcoria** . . . . . LVIII 300  
**Microcornea** . . . . . XL 202, LXVI 343  
**Microphthalmus congenitus** . . . . . LXXIV 380  
 Mizyuku-hakunaisyô 未熟白内障 . . . . . LXVIII 353  
 Mômaku-kôsyu 網膜腫 . . . . . LXXIII 376, 378  
 Mômaku-kyôsyu 網膜腫 . . . . . LXXIII 376, 378  
**Morbus Basedowi** . . . . . LXXVIII 398  
**Mucocele** . . . . . LXXIX 402, 403, 404  
 Mugankyû-ni-gappei-sita-ganka-nôsyu 無眼球=合併シタ眼窩囊腫 . . . . . LXXVI 392  
 Muhyôyô-hakunaisyô 霧永様白内障 . . . . . LXV 337  
 Myakurakumaku-kokusyoku-nikusyu 脈絡膜

黑色肉腫 . . . . . LXXIII 379

N

Naityokkin-mahi 内直筋麻痺 . LXXXVI 436, 437  
 Nikusyuyô-pannusû 肉腫様パンヌス . . . . . LII 265  
 Nôsuisyu 脳水腫 . . . . . LXXXII 416  
**Nubecula corneae e panno** . . . . . XLVII 237

O

**Occlusio pupillae** . . . . . LXXIII 375  
 Ôdan-syukketusei-supirohêta-byô-ni-okeru-budômakuen 黄疽出血性スピロヘータ病=於ケル葡萄膜炎 . . . . . LXXIV 383, 384  
**Opacitas corneae congenita** . . . . . XL 199  
**Opacitas corneae nodularis** . . . . . L 257  
**Opacitas corneae saturnina** . . . . . XLIX 249  
**Opacitas corneae zonularis** . . . . . L 256  
**Opacitas corporis vitrei** . . . . . LXXIV 384  
**Ophthalmia metastatica** . . . . . LXI 318 319  
**Orbitalcyste** . . . . . LXXVI 392

P

**Pannus sarcomatosus** . . . . . LII 265  
 Pannusu-go-no-kakumaku-hakuei パンヌス後ノ角膜薄翳 . . . . . XLVII 237  
 Pannusu-go-no-kakumaku-kakutyô パンヌス後ノ角膜擴張 . . . . . XLVII 238  
**Panophtalmia** . . . . . LXI 320  
**Paralysis musculi obliqui superioris sinistri** . . . . . LXXXVII 440  
**Paralysis musculi recti lateralis** . . . . . LXXXVI 433, 434, 435  
**Paralysis musculi recti medialis** . . . . . LXXXVI 436, 437  
**Paralysis nervi oculomotorii** LXXXVII 438, 439  
**Perforatio iridis** . . . . . LXII 321  
**Periostitis orbitalis tuberculosa** . . . . . LXXV 388  
**Phlegmone orbitalis** . . . . . LXXV 386  
**Polycoria congenita** . . . . . LVII 297  
**Prolapsus iridis** . . . . . XLVII 240, LXII 326  
**Pseudoenophthalmus** . . . . . LXXXI 411, 412  
**Pseudoexophthalmus** . . . . . LXXXI 409, 410  
**Pseudoglioma** . . . . . LXXIII 377  
**Pseudostrabismus convergens** . . . . . LXXXV 427, 429, 431  
**Pseudostrabismus divergens** . . . . . LXXXV 428, 430, 432  
**Pseudotumor inflammatorius** . . . . . LXXV 389  
**Pterygium** . . . . . LII 263, LXIII 329  
**Pupilla rimiformis** . . . . . LVIII 299  
**Pygocephalus** . . . . . LXXXII 415

R

Raisei-kakumakuen 癩性角膜炎 . . . . . XLV 229  
 Raisei-kôsaien 癩性虹彩炎 . . . . . LXI 316  
 Rapisu-ni-yoru-kakumaku-husyoku ラピス=因ル角膜腐蝕 . . . . . LIII 272  
 Rekkôzyô-dôkô 裂孔狀瞳孔 . . . . . LVIII 299  
**Retractio bulbi congenita** . . . . . LXXX 406, 407, 408  
 Rôzin-kan 老人環 . . . . . L 252  
**Rundzellensarcom** . . . . . LXXVII 394  
**Ruptura corneae** . . . . . LIII 273  
**Ruptura sclerae** . . . . . LIV 278, 279  
 Ryokusyokusyû 緑色腫 . . . . . LXXVII 397

S

Saihatu-zenbô-tikonôsei-kôsaien 再發前房著膿性虹彩炎 . . . . . LIX 304  
 Sansyokusei-kakumaku-kaiyô 蠶蝕性角膜潰瘍 . . . . . XLVI 232  
**Sclera caerulea** . . . . . LIV 275  
**Scleritis** . . . . . LV 282  
**Scleritis purulenta metastatica** . . . . . LV 280, 281  
 Seiriteki-syôsitai-dômyaku-izan 生理的硝子體動脈遺殘 . . . . . LXV 335  
 Seisyoku-kyômaku 青色鞏膜 . . . . . LIV 275  
 Seizyô-kakumaku 正常角膜 . . . . . XL 198  
 Seizyuku-hakunaisyô 成熟白内障 . . . . . LXVIII 354  
 Senten-baidokusei-kôsaien 先天微毒性虹彩炎 . . . . . LX 310, 311  
 Senten-ganken-kesson 先天眼輪缺損 . . . . . XLII 209  
 Senten-gankyû-kôtai 先天眼球後退 . . . . . LXXX 406, 407, 408  
 Senten-hôgô-hakunaisyô 先天縫合白内障 . . . . . LXVI 341  
 Senten-kakumaku-kondaku 先天角膜潤濁 . . . . . XL 199  
 Senten-kôsai-kesson 先天虹彩缺損 . . . . . LVII 292, LXV 338  
 Senten-mukôsai 先天無虹彩 . . . . . LVII 295  
 Senten-syôgankyû 先天小眼球 . . . . . LXXIV 380  
 Senten-tadô 先天多瞳 . . . . . LVII 297  
 Senten-tenzyô-hakunaisyô 先天點狀白内障 . . . . . LXV 336  
 Senzyô-kakumakuen 線狀角膜炎 . . . . . XLII 211  
 Sibôseisyokuki-hensei 脂肪生殖器變性 . . . . . LXXXIX 445, 446, 447  
**Siderosis bulbi** . . . . . LXIII 327  
**Siderosis lentis** . . . . . LXX 361  
 Sinsô-kakumakuen 深層角膜炎 . . . . . XLIII 217  
 Sinsin-isyoku 視神經萎縮 . . . . . LXXXII 415, 416  
 Sizyô-kakumakuen 絲狀角膜炎 . . . . . XLIII 218  
 Sôkan-hakunaisyô 層間白内障 . . . . . LXVI 343, LXVII 344, 345  
**Spindelzellensarcom** . . . . . LXXVII 395  
**Staphyloma corneae**

. . . . . XLVII 242, XLVIII 245, 246  
**Staphyloma sclerae** . . . . . LIV 277  
**Strabismus concomitans convergens** . . . . . LXXXIV 421, 422  
**Strabismus concomitans divergens** . . . . . LXXXIV 423, 424  
**Strabismus concomitans divergens et sursum vergens** . . . . . LXXXIV 425, 426  
 Suisyôtai-dakkyû 水晶體脱臼 . . . . . LXXII 370  
 Suisyôtai-hen'i 水晶體偏位 . . . . . LXV 339  
 Suisyôtai-syukketu 水晶體出血 . . . . . LXII 321  
 Suisyôtai-tessei 水晶體鐵錆 . . . . . LXX 361  
 Suisyôtai-zenbônai-dakkyû 水晶體前房内脱臼 . . . . . LXXII 371  
 Suisyôtai-zennô-rakusetu 水晶體前囊落層 . . . . . LXXII 373  
**Synechia iridis posterior** . . . . . LXIII 328  
**Synechia iridis posterior anularis** . . . . . LXIII 329  
 Syôdôkô 小瞳孔 . . . . . LVIII 300  
 Syôekisei-ganka-hôkasikien 漿液性眼窩蜂窠織炎 . . . . . LXXV 385  
 Syohatu-hakunaisyô 初發白内障 . . . . . LXVIII 350, 351, 352  
 Syô-kakumaku 小角膜 . . . . . XL 202, LXVI 343  
 Syômô-ni-yoru-kakumaku-sonsyô 睫毛=因ル角膜損傷 . . . . . XLI 205, 206  
 Syôsuihôsei-kakumakuen 小水泡性角膜炎 . . . . . XLIII 214

T

Tahatu-naibunpi-syôgaisei-hatuikuhuzen 多發内分泌障碍性發育不全 . . . . . LXXI 366, 367  
 Taizyô-kakumaku-kondaku 帶狀角膜潤濁 . . . . . L 256  
 Ten'isei-gan'en 轉移性眼炎 . . . . . LXI 318, 319  
 Tenisei-kanôsei-kyômakuen 轉移性化膿性鞏膜炎 . . . . . LV 280, 281  
 Tenzyô-hakunaisyô 點狀白内障 . . . . . LXVII 348, 349  
 Tenzyô-hyôsô-kakumakuen 點狀表面角膜炎 . . . . . XLI 207, 208  
 Tisyuzyô-sisi 蜘蛛狀指趾 . . . . . LXXII 370  
 Tisyuzyô-sisi-ni-okeru-suisyôtai-dakkyû 蜘蛛狀指趾=於ケル水晶體脱臼 . . . . . LXXII 370  
 Togansei-kakumakuen 兔眼性角膜炎 . . . . . XLII 209  
 Tôkei-zugai 塔形頭蓋 . . . . . LXXXII 415  
 Tô-nyôsei-hakunaisyô 糖尿病性白内障 . . . . . LXIX 355, 356, 357, 358  
**Tuberculosis corneae** . . . . . XLV 227  
**Tuberculosis sclerae** . . . . . LV 283  
 Tyûsin-hakunaisyô 中心白内障 . . . . . LXVII 346, 347

U

**Ulcus corneae catarrhale** . . . . . XLVI 231  
**Ulcus corneae rodens** . . . . . XLVI 232  
**Ulcus corneae serpens** . . . . . XLVI 233, 234

Uveitis . . . . . LXXIV 383, 384

V

Vascularisatio iridis . . . . . LXIII 330

W

Warzen-iris . . . . . LVIII 301

Y

Yokuzyô-zeihen 翼狀贅片 . . . LII 263, LXIII 329

Yokuzyô-zeihen-nai-no-nôsyu 翼狀贅片内ノ囊

膜 . . . . . LII 263

Yutyakusei-hakuhan 癒着性白斑 . . . XLVII 241

Yûzeizyô-kôsai 疣贅狀虹彩 . . . . . LVIII 301

Z

Zengakutô-nen'eki-tikuseki 前額竇粘液蓄積

. . . . . LXXIX 402

Zen-gankyûen 全眼球炎 . . . . . LXI 320

Zensikimô 全色盲 . . . . . LXXXII 413, 414

Zenziku-taisei-hakunaisyô 前軸胎生白内障

. . . . . LXVI 340

Zyakunen-kan 若年環 . . . . . L 253

Zyakunensei-hakunaisyô 若年性白内障

. . . . . LXXI 364, 365

Zyôgakutô-nen'eki-tikuseki 上顎竇粘液蓄積

. . . . . LXXXIX 403

Zyusizyô-kakumakuen 樹枝狀角膜炎 . . . XLII 212

昭和 11 年 4 月 1 日 印刷

昭和 11 年 4 月 5 日 發行

眼病圖譜 下卷

定價 ¥ 12.50



著者 <sup>イシ</sup>石 <sup>ハラ</sup>原 <sup>シノブ</sup>忍

發行者 金原 作 輔  
東京市本郷區湯島切通坂町 21 番地

印刷者 河合 勝 夫  
東京市本所區麩橋 1 丁目 27 番地 / 2

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場  
東京市本所區麩橋 1 丁目 27 番地 / 2

東京市本郷區湯島切通坂町 21

發行所 株式會社 金原商店

電小石川 3840・4322・5903 振替東京 3535

大阪店

大阪市西區江戸堀上通 2 / 42  
電上佐堀 2413 振替大阪 6463

京都店

京都市上京區丸太町通丸太町橋西詰  
電上 4114 振替大阪 29619

— 眼 科 學 —

大日本眼科全書 全廿冊  
 (御申込次第詳細御通知申上候)

石原忍	小	眼	科	學	菊判	247頁	¥10.00	.22				
茂木宣	簡	明	眼	科	學	菊判	324頁	¥ 4.50 .14				
日本眼科學會編	眼科ノ領域ニ於ケル新知識				四六倍	350頁	¥ 3.50	.14				
石津寛	實際	眼科	治療	學	袖珍	497頁	¥ 4.00	.08				
石原忍	眼	底	圖	譜	四六倍	167圖	¥10.00	.22				
石原忍	眼	病	圖	譜	上卷 四六倍	197圖	¥10.00	.22				
山本守部	眼	腫	瘍	學	菊判	42頁	¥ .60	.06				
中村康	眼鏡	處	方	解	說	四六判	113頁	¥ 1.50 .08				
畑文平	失明	豫	防	讀	本	菊判	40頁	¥ .35 .04				
石原忍	石原式	歐	文	色	盲	檢	查	表	四六判	16表	¥ 6.00	.14
石原忍	簡	明	試	視	力	表	掛圖	並製	¥ .30 .10	¥ .20 .08		
鹿中兒島茂實	檢	眼	鏡	用	法	菊判	78頁	¥ 1.80	.10			
石原忍	眼科	暗	室	檢	查	法	菊判	100頁	¥ 1.50	.10		
石土屋	眼科	手術	學	(第一卷)	三三判	100頁	¥ 3.80	.14				
石原忍	眼科	處	方	集	袖珍	260頁	¥ 2.00	.08				

—圖書目錄贈呈—



55-157



1200501267180

55  
57

終